高等学校歴史教科書・大学入試出題用語精選
基準に関するアンケート集計結果について

高大連携歴史教育研究会運営委員会

2018（平成 30）年 3 月

はじめに

高大連携歴史教育研究会の運営委員会は、日本歴史学協会歴史教育特別委員会、日本学術会議史学委員会高校歴史教育に関する分科会に呼びかけて、2017（平成29）年11月13日から2018（平成30）年２月28日まで、約３ケ月半にわたって、高等学校歴史教科書と大学入試の出題用語の精選基準に関するアンケート調査を実施してきました。

この間、1300人を超える多くの方々から回答が寄せられたことに感謝しております。中でも、高等学校や大学の教員だけでなく、小中学生、高校生、大学生、さらには、一般市民の皆さんからも多数の回答が寄せられ、この種のアンケート調査としては、稀に見るほど多様な方々からの回答が寄せられる結果となりました。

ただ、高大連携歴史教育研究会が、高等学校で現在教えられている世界史Ｂと日本史Ｂの用語精選第一次案を、アンケート調査の参考資料として同時に発表したため、３者によるこのアンケート調査が高大連携歴史教育研究会の用語精選第一次案への意見を問うものという誤解が生じ、他の２団体に大変ご迷惑をおかけしたことを心からお詫び申し上げます。そのため、このアンケートへの回答の自由記述欄には、高大連携歴史教育研究会の用語精選第一次案への意見が多数寄せられる結果となりました。それらのご意見は、このアンケートには直接関係ないものですが、今後の参考になればと考え、自由記述の概要の中に収録させていただきました。

このアンケート結果の集計や自由記述部分の要約は、高大連携歴史教育研究会運営委員会の責任で行いましたので、報告書も高大連携歴史教育研究会運営委員会名でまとめさせていただき、日本歴史学協会や日本学術会議に報告させていただきます。また、本年２月14日には高等学校の学習指導要領案が発表され、その中には用語精選の方向性が明示されませんでしたが、用語精選は、元来、民間の学会や研究会、教科書編集者などが自主的に進めてゆくべき課題でありますので、このアンケート結果を、関係する皆さんに参照していただければ、幸いです。

■次頁より上記アンケートの集計結果となります。

・アンケート実施期間：2017（平成29）年11月13日～2018（平成30）年2月28日
・アンケート回答フォーム総アクセス数：2940
・アンケート回答完了数：（紙媒体も含む・無効回答は除く）：1342
・回答者内訳：個人としての回答数：1320　／　会としての回答数：22
・集計責任：高大連携歴史教育研究会事務局

１．アンケート結果の特徴

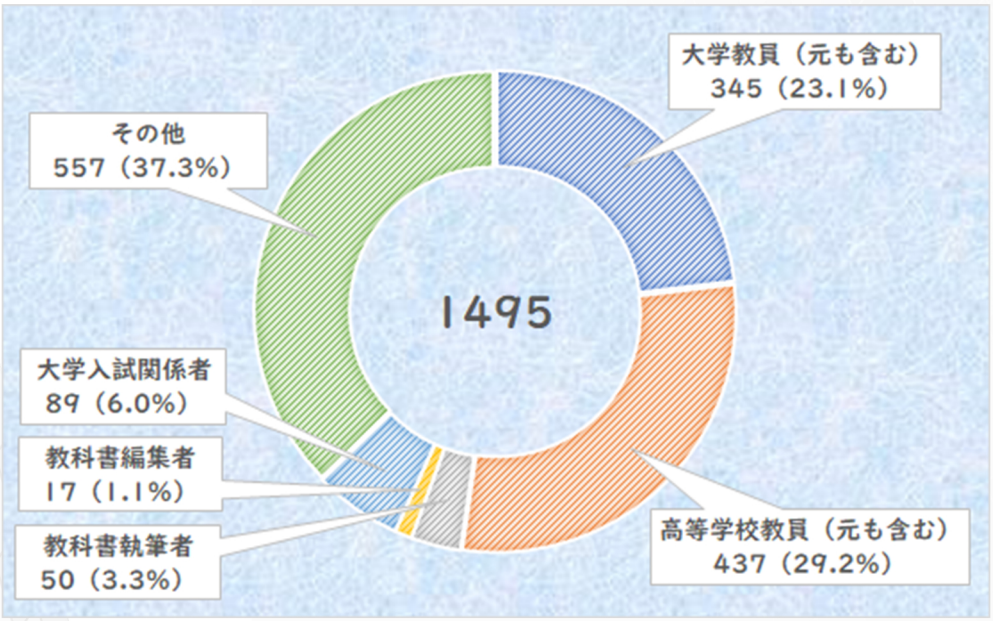
■注意事項

・アンケートの全設問については、後掲の「４．参考資料：アンケート調査のお願い」をご確認ください。

・以下のドーナツグラフのデータラベルは全て、分類名（選択項目）・値（回答数）・パーセンテージの順に記されています。なお、グラフ中央の数値は値（回答数）の当該質問における合計値となります。

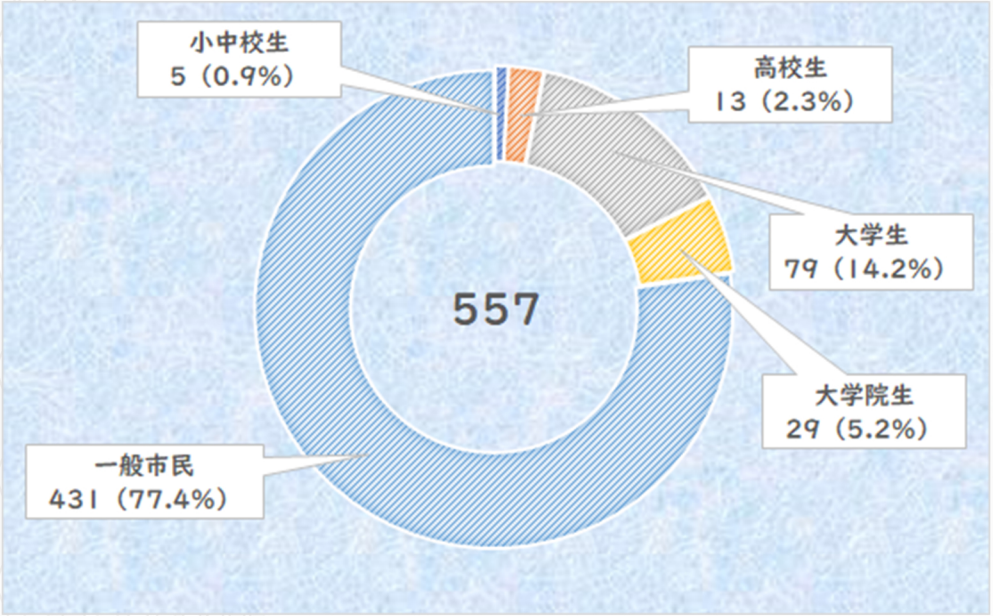
・自由記述が付随するもの（選択肢から「その他」を選んだ場合に書かれたものなど）の詳細は「概要」として後掲の「３．自由記述の概要」にまとめました。

Ⅲ．記入者の特性（複数選択可）



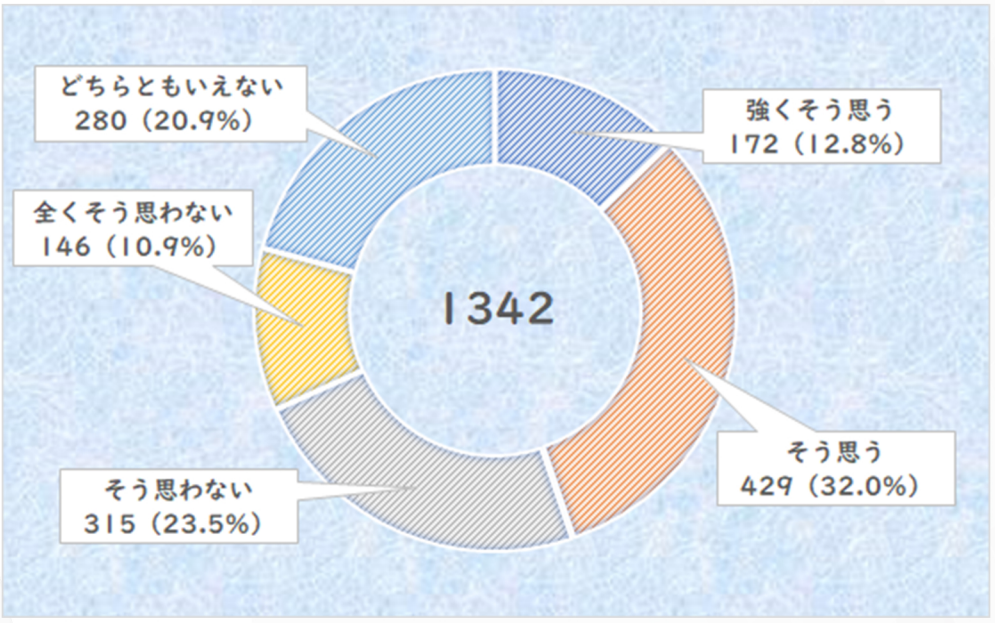
「その他」の方の特性

＊小中校生・高校生・大学生・大学院生以外の特性は「一般市民」として集計
また、特性を明記していない人も「一般市民」として集計

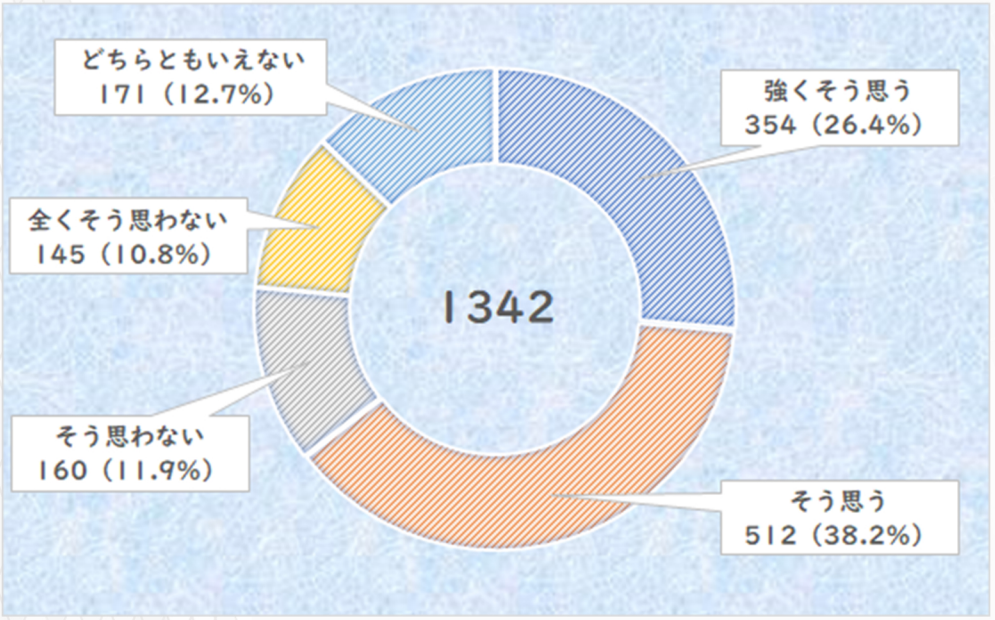


Ⅳ. 高等学校の歴史系教科書に収録されている用語が改訂の度に増大している傾向についてどうお考えですか。

ⅰ）歴史研究の進展の結果として当然

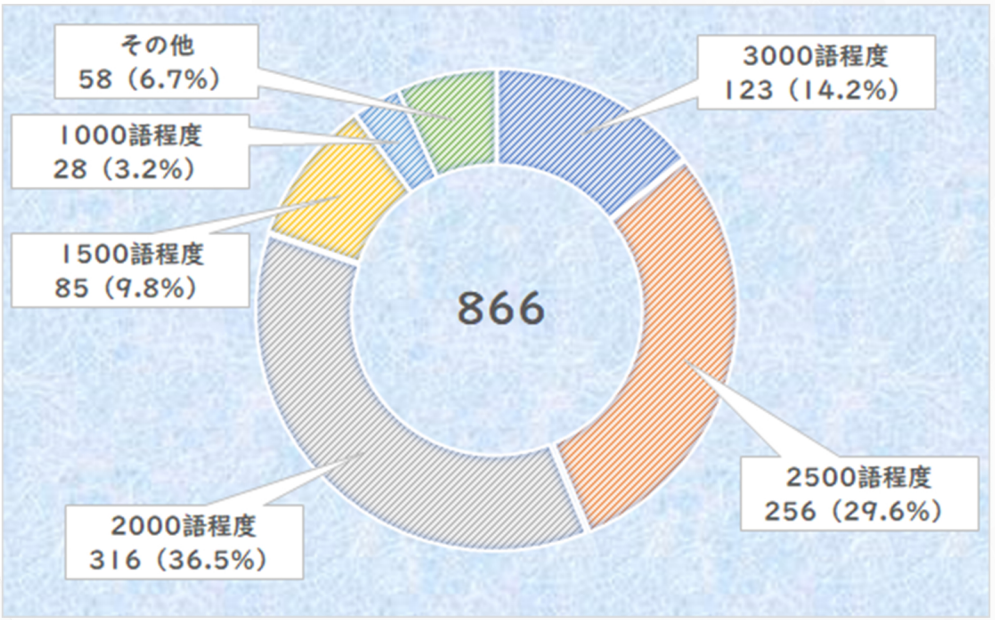


ⅱ）高等学校での授業時間の制約を考え、用語の精選が必要

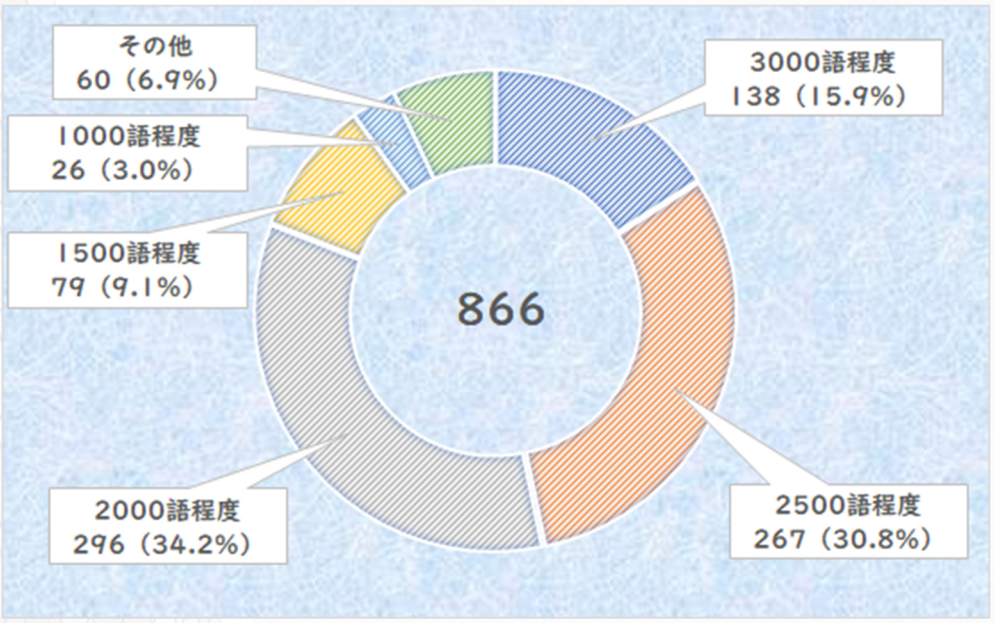


Ⅴ．Ⅳ-ⅱで用語の精選が必要（強くそう思うorそう思うを選択）と回答された方にお尋ねします。高等学校の世界史Bと日本史B（いづれも4単位）における適当な用語数は次のどれとお考えですか。

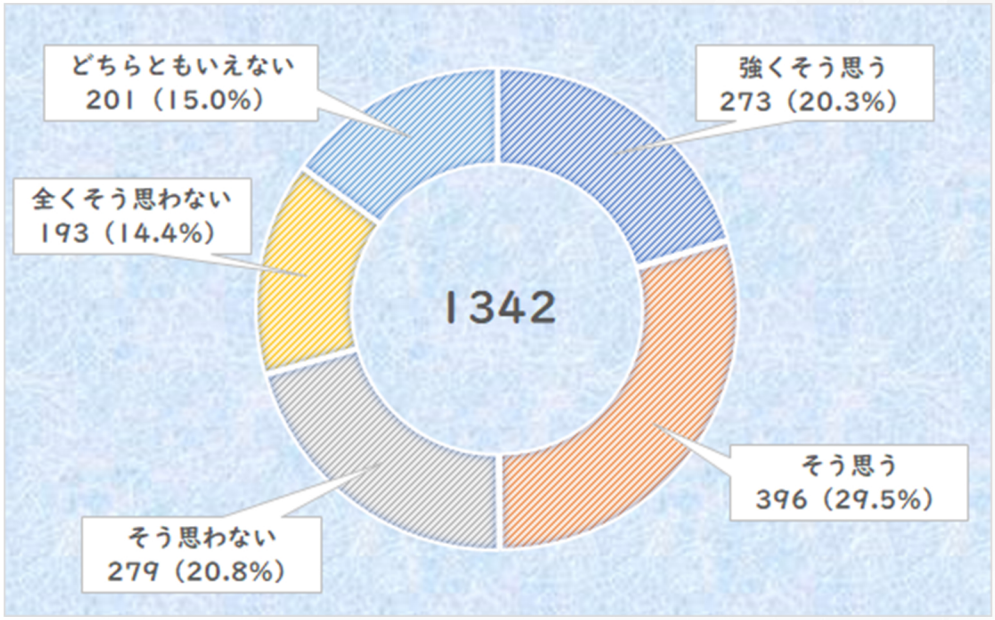
世界史



日本史

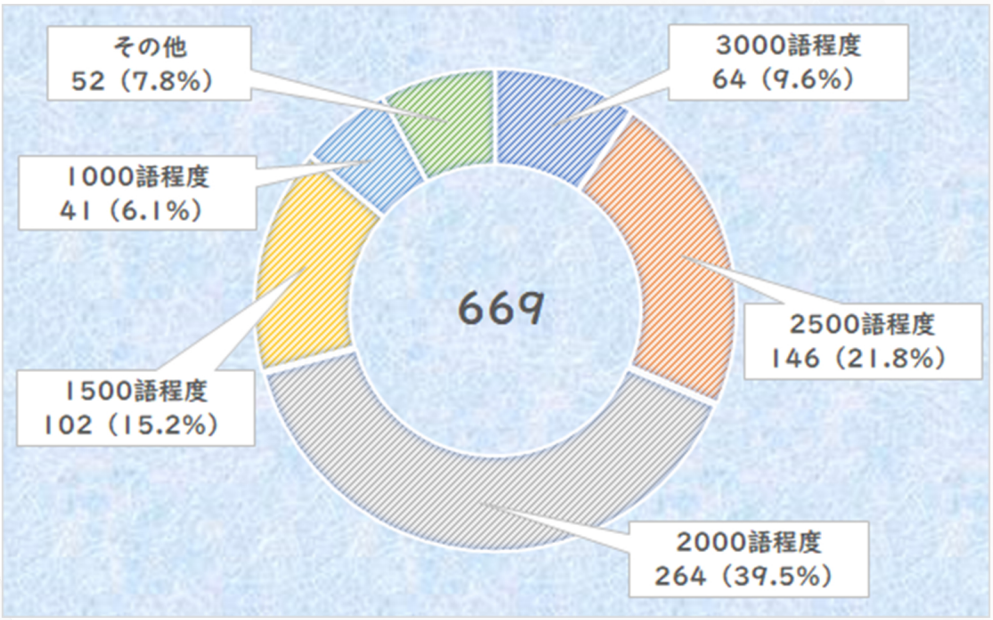


Ⅵ. 大学入試で出題する用語数を限定する必要があるとお考えですか。

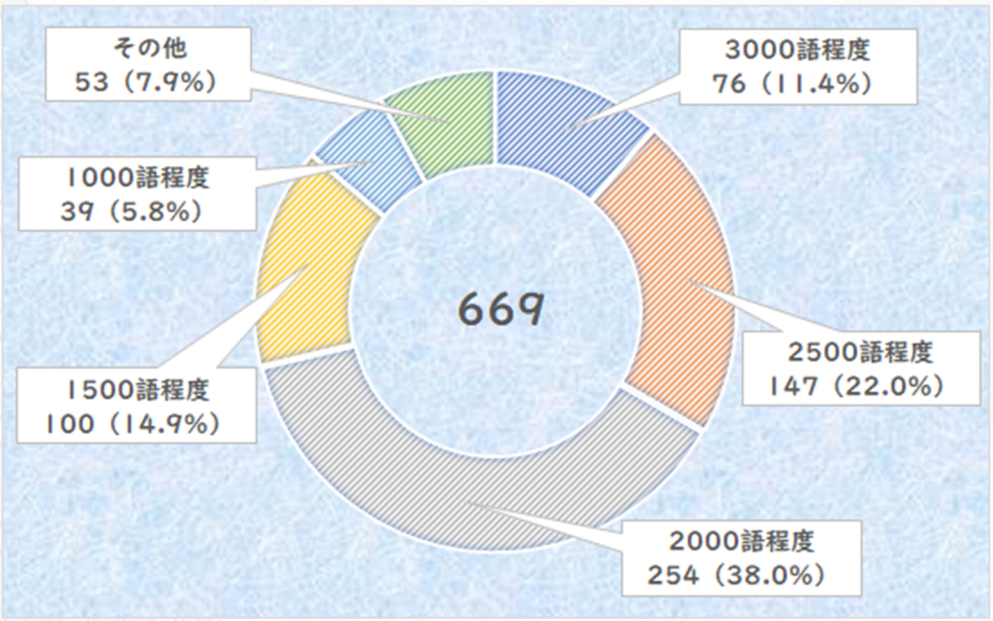


Ⅶ. Ⅵで出題用語の精選が必要（強くそう思うorそう思う）と回答された方にお尋ねします。大学入試で限定すべき用語数は次のどれとお考えですか。

世界史

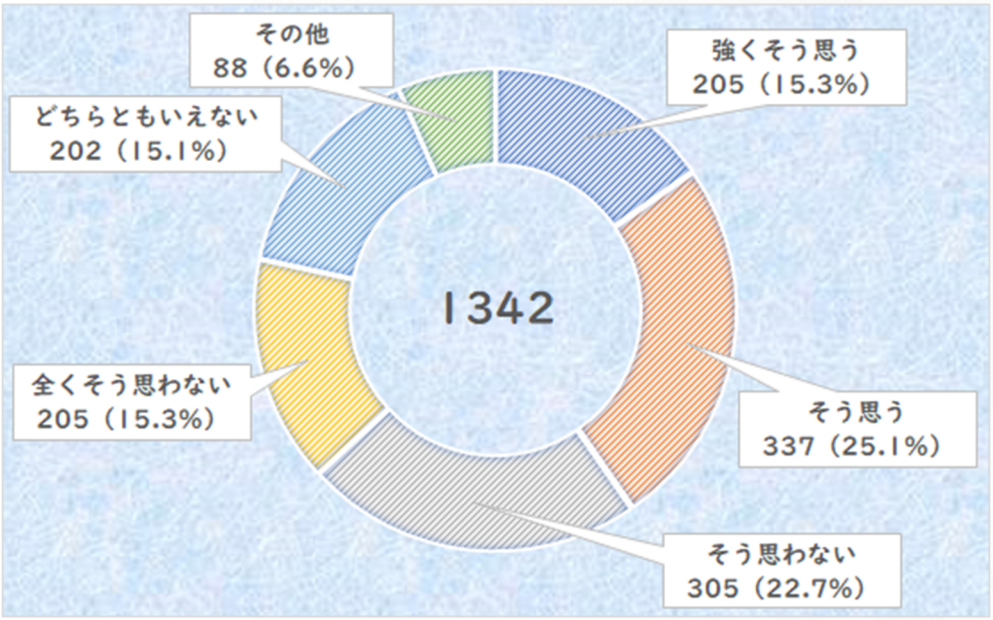


日本史

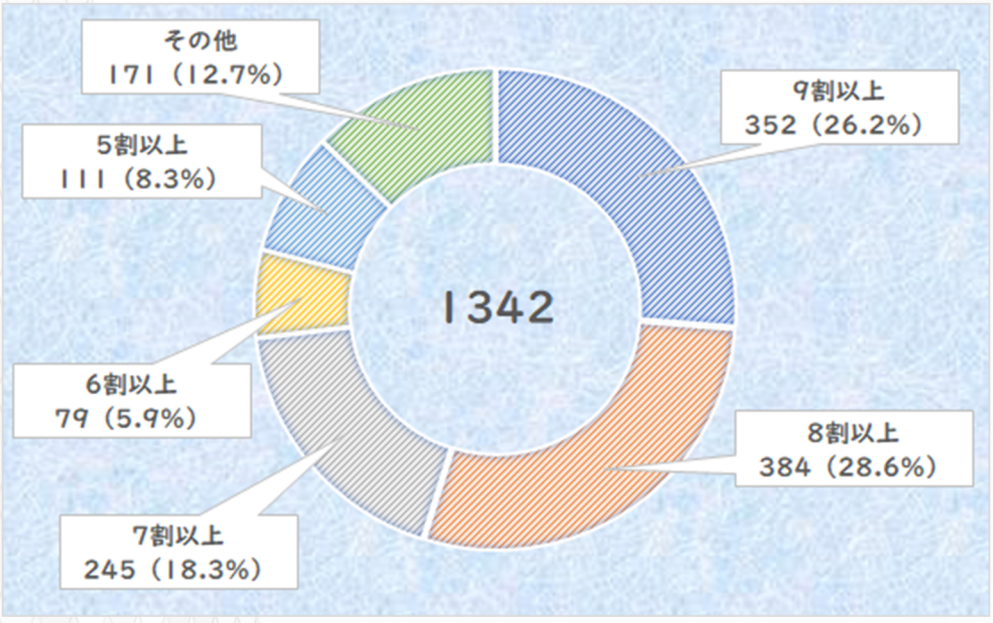


Ⅷ. 用語の精選を行う場合の次の基準についてどうお考えでしょうか。

ⅰ）大学入試の出題用語は、高等学校の歴史系授業で十分説明する時間がないと思われる注や資史料にでてくる用語は除外し、教科書の本文に掲載されている用語に限定するべきである。

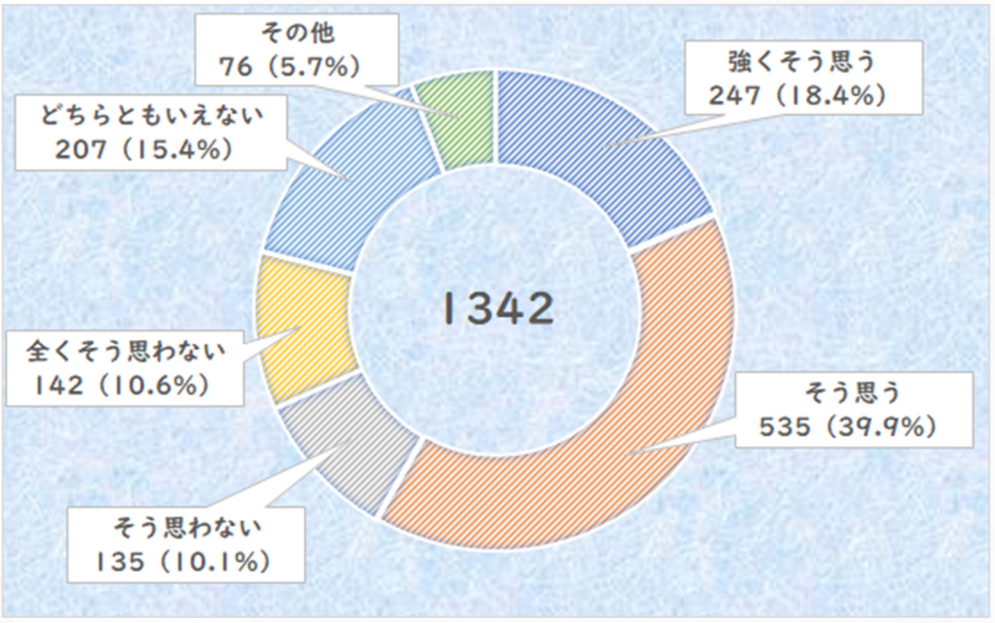


ⅱ）大学入試の出題用語は、入試の公平性を配慮して、高等学校で使用している歴史教科書の何割以上の教科書に収録されている用語に限定すべきと考えますか。2014年時点で使用されていたB教科書（世界史・日本史とも11種）でみた場合の用語数を参照に選択してください。

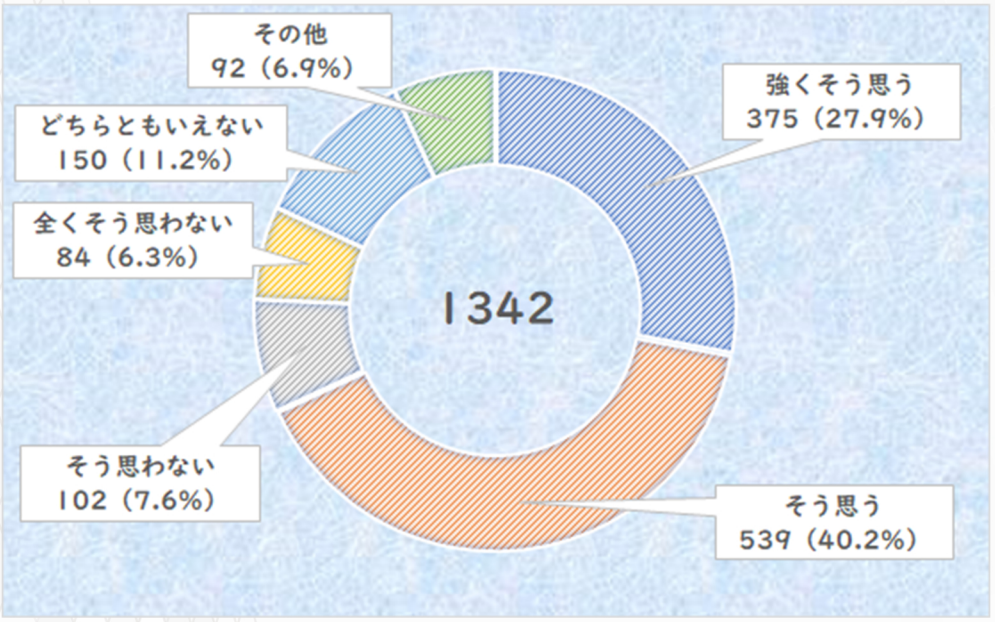


Ⅷ. 用語の精選を行う場合の次の基準についてどうお考えでしょうか。

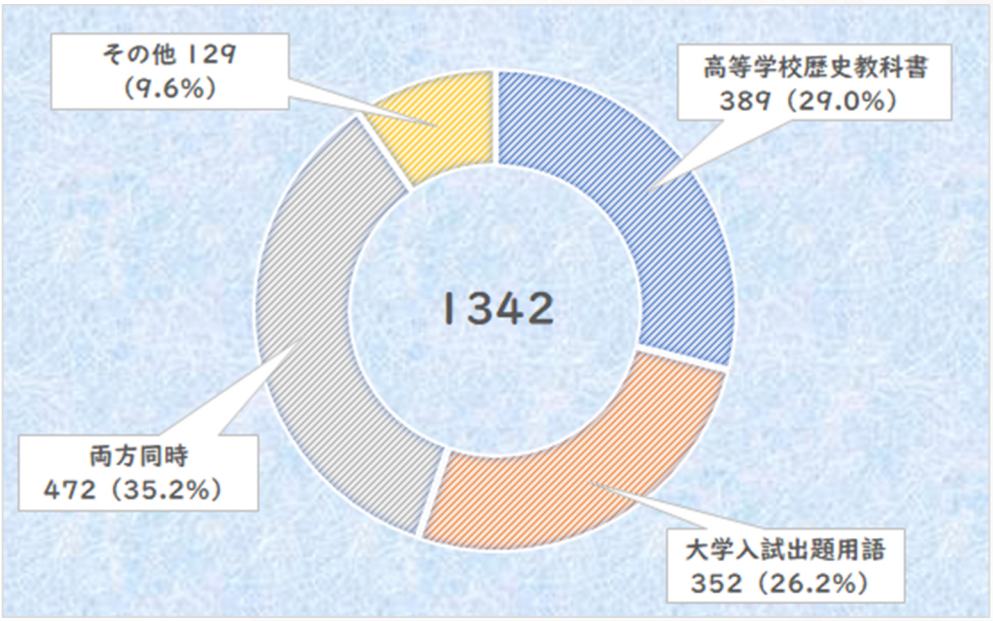
ⅲ）高等学校の歴史教科書においては、時代の大きな流れを説明する概念用語と、特定の時期に起こった事件やそれに関連する人名・地名を表す事実用語を区別し、概念用語を中心としてその説明に必要な事実用語を必要な範囲で精選する。



ⅳ）用語の膨張傾向を生み出す要因の一つとして文化史における作家と作品の名前が羅列されている状況があるので、文化史に関してはそれぞれの時代を代表する作家や作品に限定した上で、その作家や作品の特徴をきちんと説明する形で収録する。



Ⅸ. 歴史系用語の精選を行う場合、高等学校歴史教科書の収録用語と大学入試の出題用語の精選のどちらを先行させるべきとお考えですか。



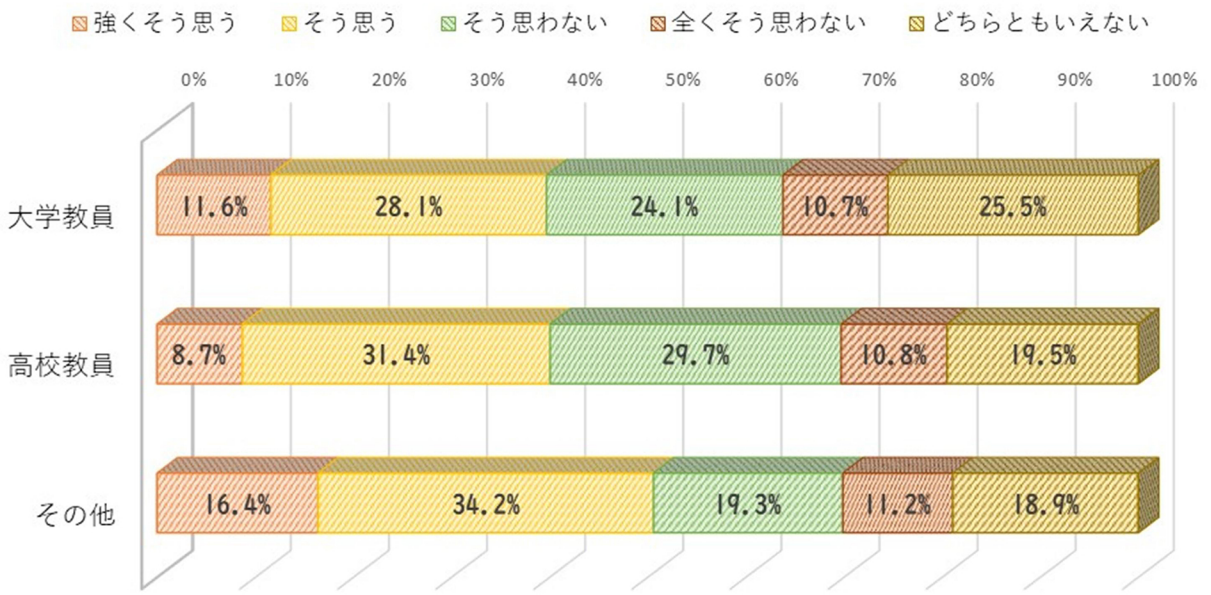
２．階層別アンケート結果

■注意事項

・前頁までのアンケート結果の特徴を、大学教員・高校教員・その他の階層別でまとめたものとなります。各質問の階層別の回答数については16頁を適宜ご参照ください。

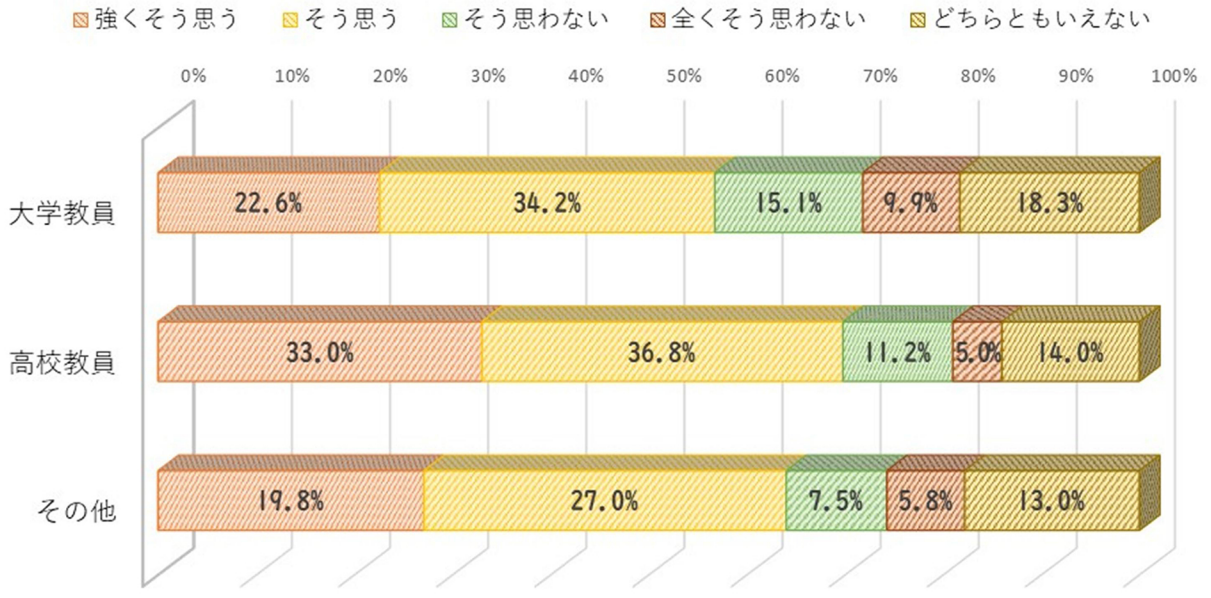
Ⅳ．高等学校の歴史系教科書に収録されている用語が改訂の度に増大している傾向についてどうお考えですか。

ⅰ）歴史研究の進展の結果として当然

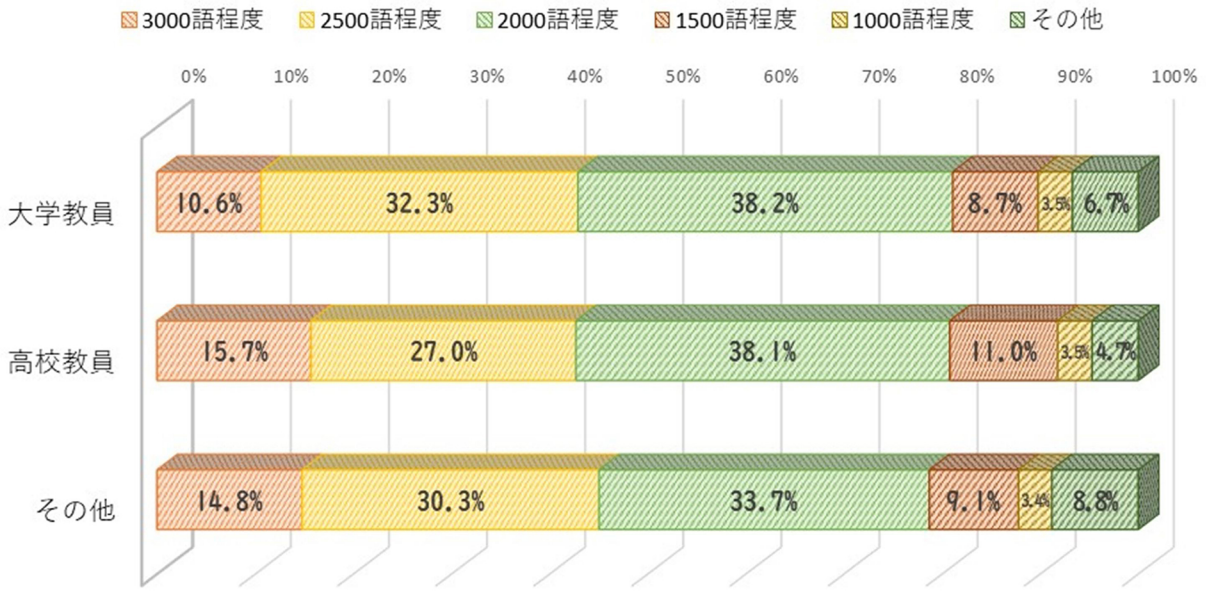


Ⅳ．高等学校の歴史系教科書に収録されている用語が改訂の度に増大している傾向についてどうお考えですか。

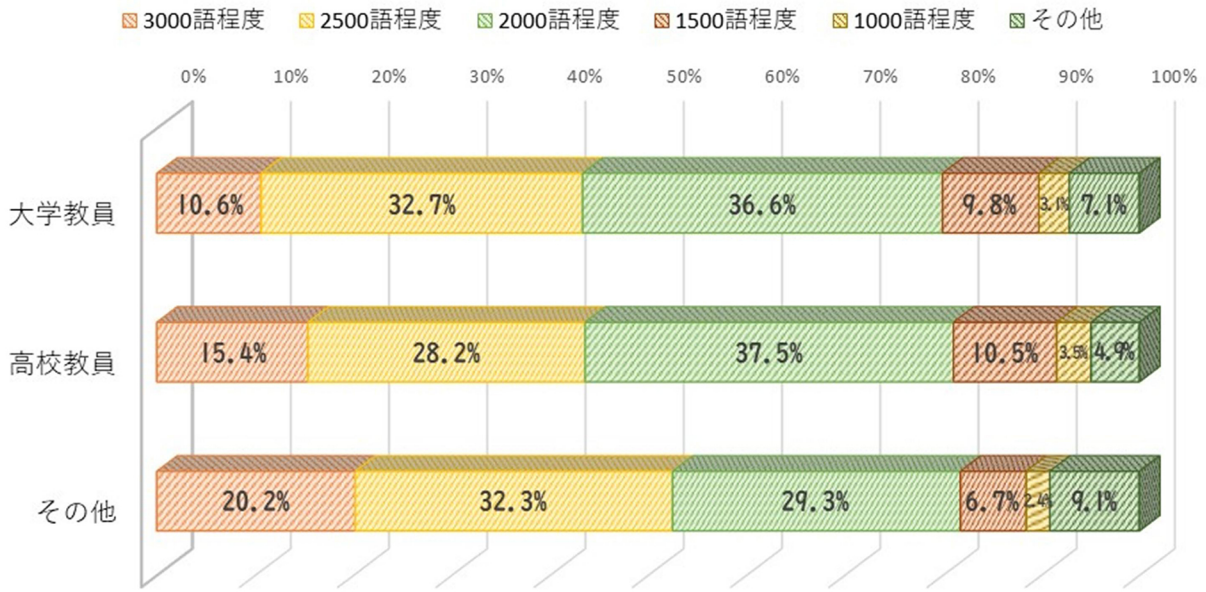
ⅱ）高等学校での授業時間の制約を考え、用語の精選が必要



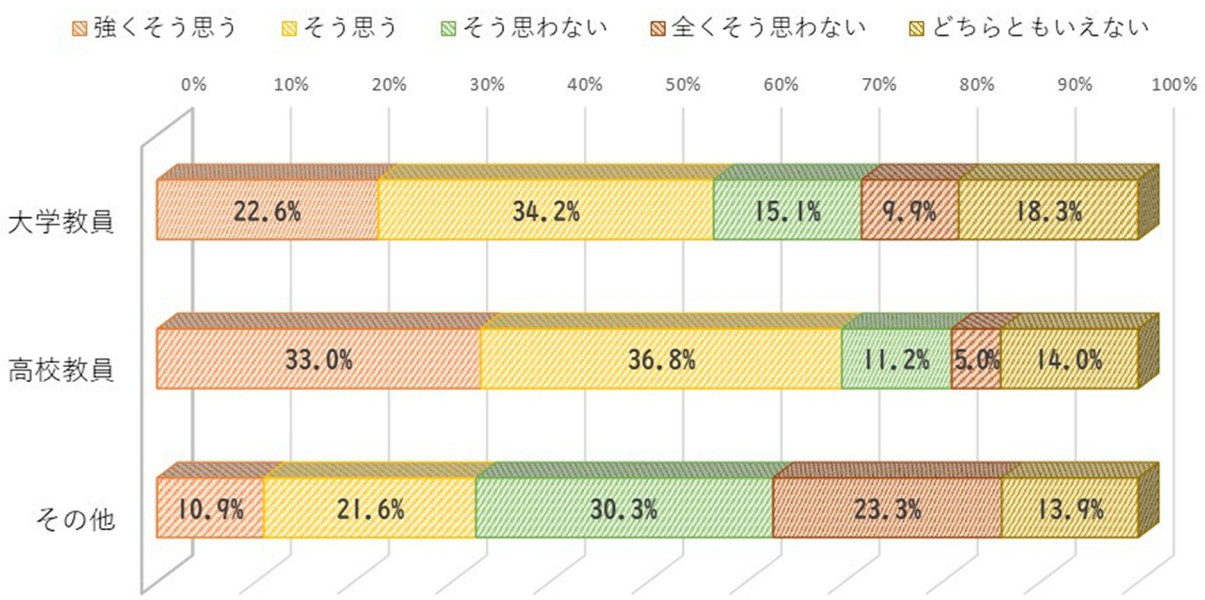
Ⅴ．Ⅳ-ⅱで用語の精選が必要（強くそう思うorそう思うを選択）と回答された方にお尋ねします。高等学校の世界史Bと日本史B（いづれも4単位）における適当な用語数は次のどれとお考えですか。（世界史）



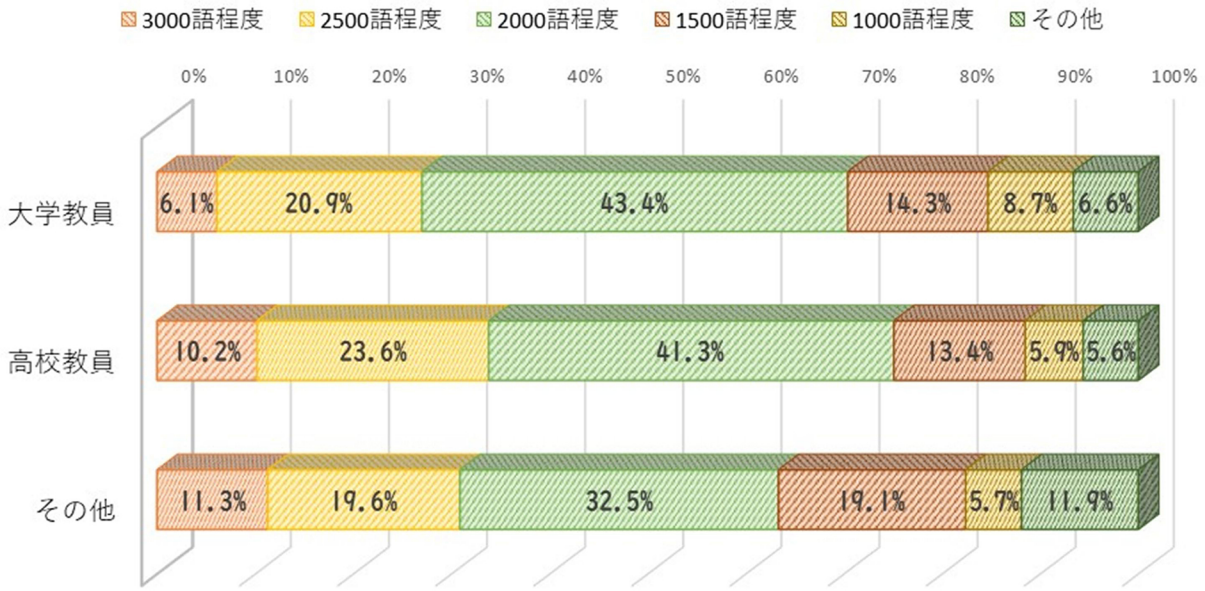
Ⅴ．Ⅳ-ⅱで用語の精選が必要（強くそう思うorそう思うを選択）と回答された方にお尋ねします。高等学校の世界史Bと日本史B（いづれも4単位）における適当な用語数は次のどれとお考えですか。（日本史）



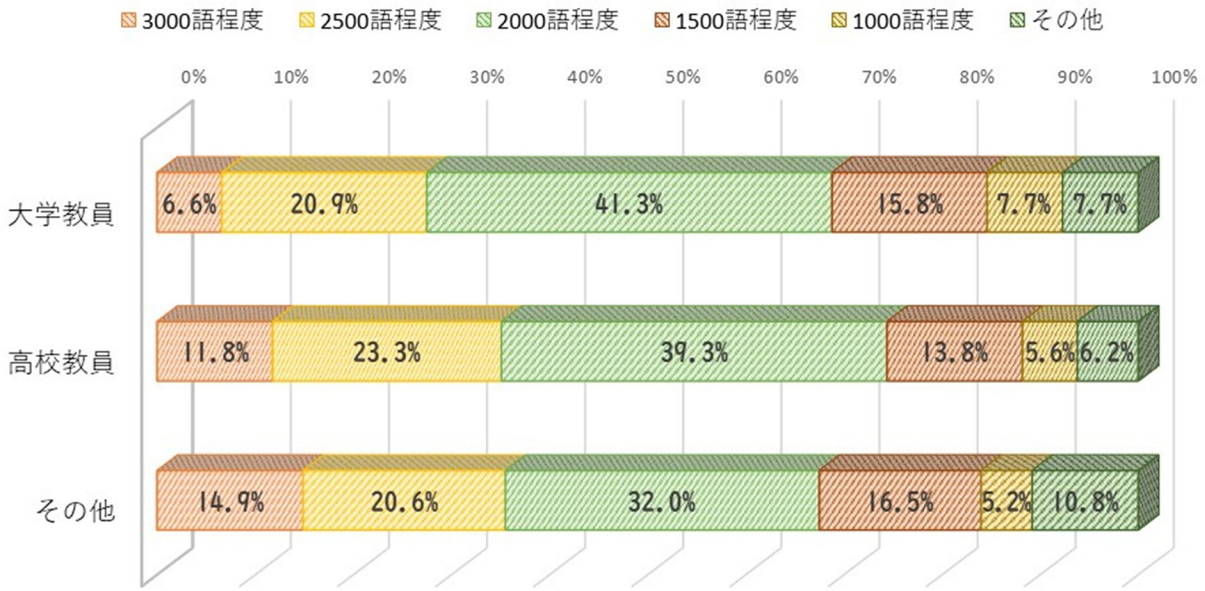
Ⅵ．大学入試で出題する用語数を限定する必要があるとお考えですか。



Ⅶ．Ⅵで出題用語の精選が必要（強くそう思うorそう思う）と回答された方にお尋ねします。大学入試で限定すべき用語数は次のどれとお考えですか。（世界史）

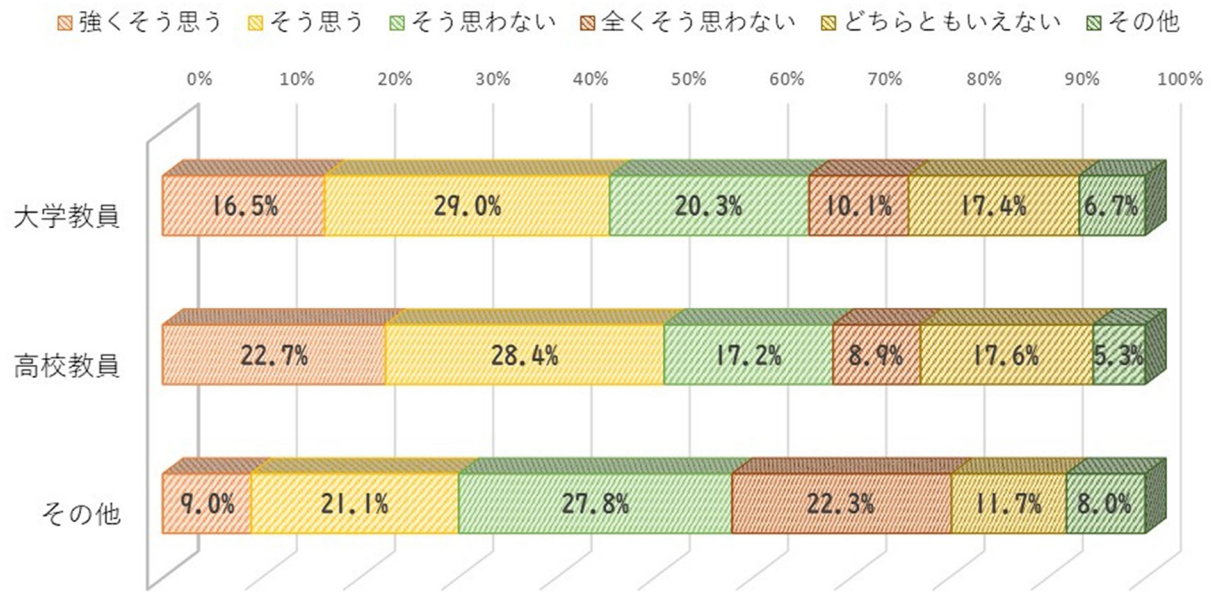


Ⅶ．Ⅵで出題用語の精選が必要（強くそう思うorそう思う）と回答された方にお尋ねします。大学入試で限定すべき用語数は次のどれとお考えですか。（日本史）



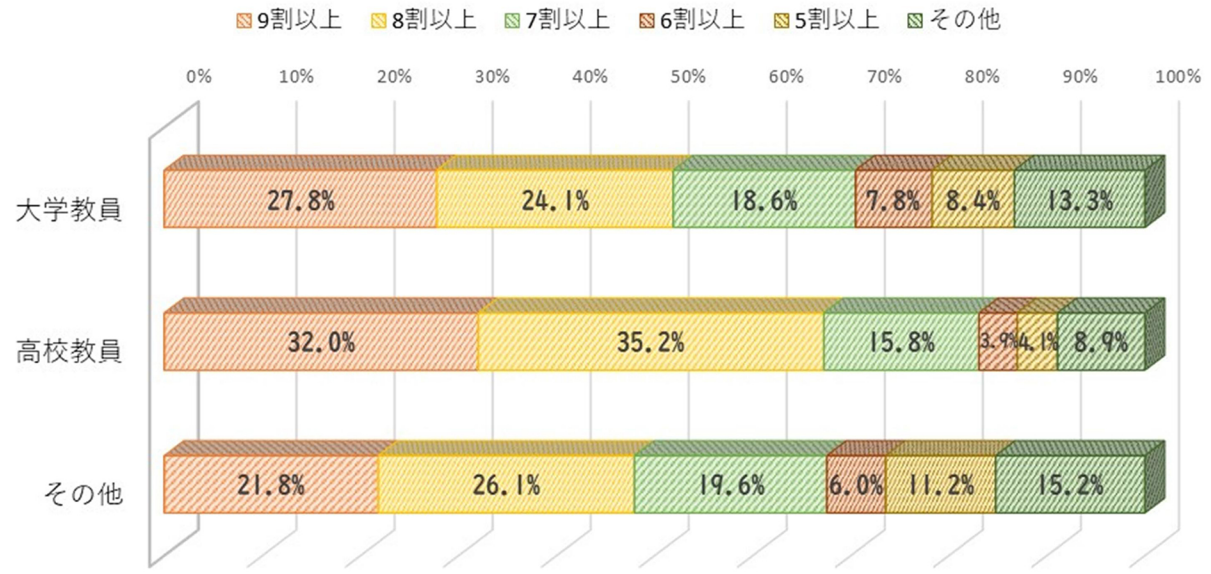
Ⅷ. 用語の精選を行う場合の次の基準についてどうお考えでしょうか。

ⅰ）大学入試の出題用語は、高等学校の歴史系授業で十分説明する時間がないと思われる注や資史料にでてくる用語は除外し、教科書の本文に掲載されている用語に限定するべきである。



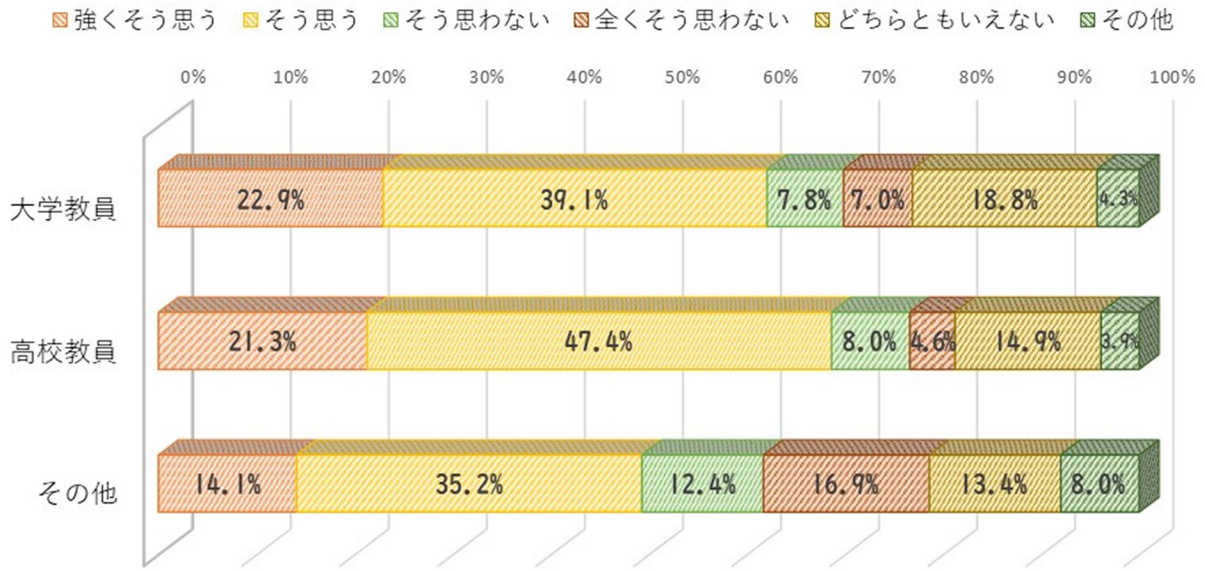
Ⅷ. 用語の精選を行う場合の次の基準についてどうお考えでしょうか。

ⅱ）大学入試の出題用語は、入試の公平性を配慮して、高等学校で使用している歴史教科書の何割以上の教科書に収録されている用語に限定すべきと考えますか。2014年時点で使用されていたB教科書（世界史・日本史とも11種）でみた場合の用語数を参照に選択してください。



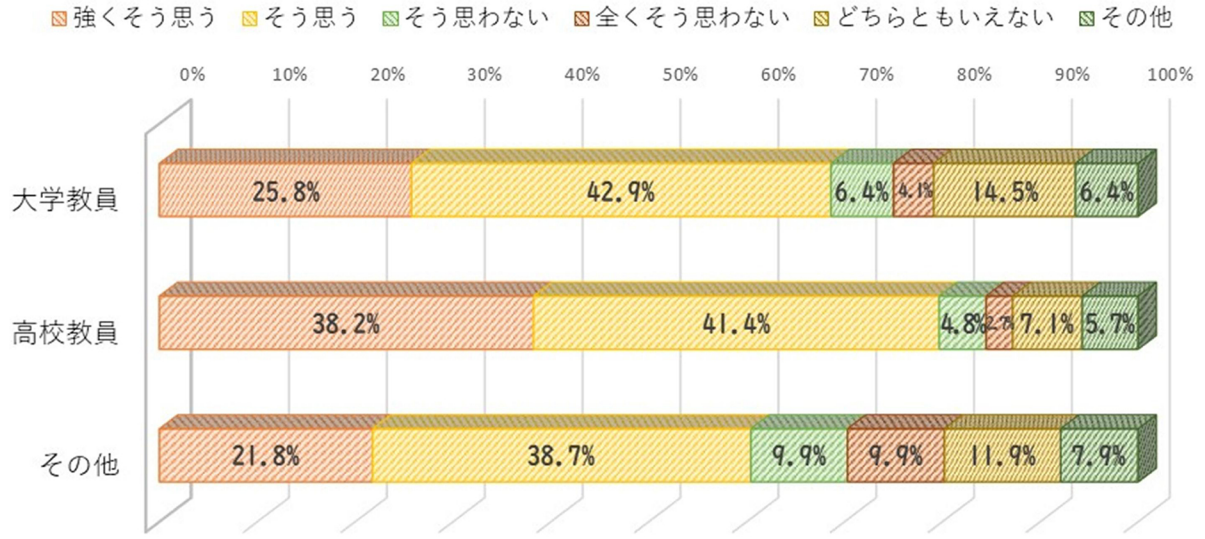
Ⅷ. 用語の精選を行う場合の次の基準についてどうお考えでしょうか。

ⅲ）高等学校の歴史教科書においては、時代の大きな流れを説明する概念用語と、特定の時期に起こった事件やそれに関連する人名・地名を表す事実用語を区別し、概念用語を中心としてその説明に必要な事実用語を必要な範囲で精選する。

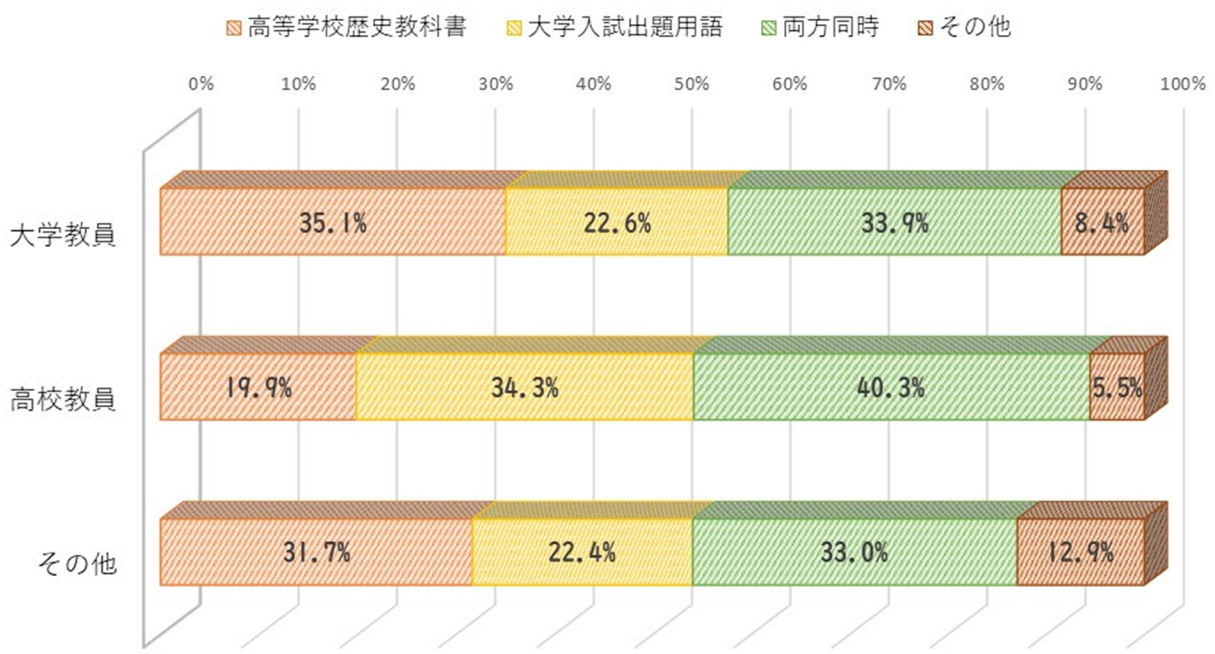


Ⅷ. 用語の精選を行う場合の次の基準についてどうお考えでしょうか。

ⅳ）用語の膨張傾向を生み出す要因の一つとして文化史における作家と作品の名前が羅列されている状況があるので、文化史に関してはそれぞれの時代を代表する作家や作品に限定した上で、その作家や作品の特徴をきちんと説明する形で収録する。



Ⅸ．歴史系用語の精選を行う場合、高等学校歴史教科書の収録用語と大学入試の出題の精選のどちらを先行させるべきとお考えですか。



各設問の階層別の回答数

	Ⅳ-ⅰ	Ⅳ-ⅱ	Ⅴ-世界史	Ⅴ-日本史	Ⅵ	Ⅶ-世界史
大学教員	345	345	254	254	345	196
高校教員	437	437	344	344	437	305
その他	597	597	297	297	597	194

	Ⅶ-日本史	Ⅷ-ⅰ	Ⅷ-ⅱ	Ⅷ-ⅲ	Ⅷ-ⅳ	Ⅸ
大学教員	196	345	345	345	345	345
高校教員	305	437	437	437	437	437
その他	194	597	597	597	597	597

3．自由記述の概要

■注意事項

・自由記述の回答は、高大連携歴史教育研究会の運営委員で「概要」としてまとめた上で、類似のものを２つ～３つのグループに分類して表記しました。

・各回答の後ろにある（　）内の数値は回答数を示しています。

Ⅳ．高等学校の歴史系教科書に収録されている用語が改訂の度に増大している傾向についてどうお考えですか。

ⅲ）その他のお考えがあればご記入ください。（合計回答数：179）

A．用語精選に賛成・条件付き賛成意見の概要

1）用語の増大が歴史嫌いを生んでいるので、用語の精選必要（4）、用語過多ゆえある程度の精選必要（3）

2）概念・文脈の検討と並行し、思考力育成を重視（3）

3）思考力育成型教育への転換必要（7）　／　4）重要用語を太字で表記（3）

5）常識的用語は削減　／　6）文化史用語の削減を　／　7）近現代史に重点おく精選を（7）

8）有名人は残すべき　／　9）多様な専門家の意見聞き、慎重に

10）基礎知識萎縮しないように　／　11）概念用語中心の教育へ転換を

12）社会人として必要な用語中心に　／　13）小中学歴史とのダブリ除去

14）精選は入試用語に限定を　／　15）ドラマの有名人の削除　／　16）中世ヨーロッパ過多

17）現代的意義から精選を　／　18）日本人にとって必要なものは残すべき（2）

19）他教科と分業を　／　20）世界史は可（2）、日本史は不可

B．用語精選に反対・条件付き反対意見の概要

1）大学入試に合わせた精選不要（2）、大学入試の出題法の改革で対応すべき

2）ゆとり教育再現の恐れ（4）、教え方の改革を　／　3）生徒の選択に任せるべき（5）

4）用語精選が恣意的になる危険あり　／　5）用語の暗記で思考力つくこともあり（2）

6）教科書ごとに個性あってよい（2）、教科書の複数化で対応可　／　7）教育の質向上が先

8）龍馬などの偉人の削除反対（2）　／　9）用語多の教科書が現場で採択多の現実在り

10）教え方の改革が重要（2）　／　11）歴史理解の単純化につながる

12）研究成果の取り入れ必要（3）

13）アクティブ・ラーニングの取り入れには用語増必要

14）用語数の過剰が問題の中心ではない（5）　／　15）思想的に偏った精選には反対（3）

16）授業時間増で対応を（3）　／　17）知るべきことが多くても可（2）

18）用語削減が精選に非ず　／　19）用語精選で史実教育から離れる心配

20）広く浅くの教育で可　／　21）歴史理解の単純化につながるので反対

C．高大連携歴史教育研究会用語精選第一次案に対する意見

1）南京事件など史実に基づかない用語は削除（10）　／　2）精選基準に偏り（3）

3）龍馬などの偉人の削除には反対（6）　／　4）自国に誇りをもてる歴史教育必要（8）

Ⅴ．Ⅳ- ii で用語の精選が必要（強くそう思う or そう思うを選択）と回答された方にお尋ねします。高等学校の世界史 B と日本史 B（いづれも 4 単位）における適当な用語数は次のどれとお考えですか。その他を選択した場合はお考えをご記入ください。（合計回答数：74）

A．用語精選に賛成・条件付き賛成意見の概要

1）用語精選し、事項を詳しく教えるのは良　／　2）歴史のつながり重視した精選を

3）必須の用語は残すべき　／　4）高校現場の声に基づく精選を

5）適当な語数は専門家に任せるが、国民に不安抱かせない配慮を

6）国民に誇り持たせる用語は残すこと　／　7）精選なしには現代まで教えきれず

8）用語増加の推移データ示して　／　9）重要用語を深く学ぶ必要

10）多くても 3000 語が限度　／　11）必須用語とそれ以外の区別必要

12）生徒が知るべき語は 1000 語くらいだが、教科書に載せる語は無制限で

13）平易な言葉で教えるべき　／　14）中高の関連付けを考えるべき

B．用語精選に反対・条件付き反対意見の概要

1）語数でなく、内容の問題（5）　／　2）入試の出題語の制限が先決

3）語数をまず基準にするのはおかしい　／　4）生徒の選択肢多く残すべき

5）教科書執筆者に任すべき　／6）現状の語数でよい

Ⅶ. Ⅵで出題用語の精選が必要（強くそう思う or そう思う）と回答された方にお尋ねします。大学入試で限定すべき用語数は次のどれとお考えですか。その他を選択した場合はお考えをご記入ください。（合計回答数：75）

Ａ．出題用語精選に賛成・条件付き賛成意見の概要

1）大学による難易度の差を考慮すべき（2）

2）2000 語に制限し、それ以外の語を出題する場合は注釈つければよい

3）羅列的文化史用語や現代に役立たない用語は削減

4）入試の出題用語は高校で学ぶ用語より少なくてよい　／　5）教科書本文から出題でよい（4）

6）単純な用語の暗記を問う難関校の出題形式の改革を（4）

7）センター試験のレベル確保は必要　／　8）向学心ある生徒を基準に考えるべき

9）教師自身が暗記中心の教育受けてきた例が多　／　10）歴史の流れ重視した出題を

11）歴史は用語数が多いので、教師から不選択を進められた経験あり

12）大学入試が変われば高校の歴史教育も変わる

13）進学校では４単位授業を受験のため８単位の時間かけている例あり

14）共通テストと国公立大の試験で語数に差を

15）各大学がアドミッション・ポリシーで歴史の出題語数明記すべき

16）普通の生徒に 3000 語の記憶要求は無理

17）キー概念明確にして思考力問う入試への改革を

18）中学の既習語を除いて 3000 語以下に制限

Ｂ．出題用語精選に反対・条件付き反対意見の概要

1）大学入試を論述式に変えるべき　／　2）大学差大きいので一概に言えない

3）大学入試を資格試験に変えるべき　／　4）日本人にとって正しい用語には制限不要

Ⅷ. 用語の精選を行う場合の次の基準についてどうお考えでしょうか。

ｉ）大学入試の出題用語は、高等学校の歴史系授業で十分説明する時間がないと思われる注や資史料にでてくる用語は除外し、教科書の本文に掲載されている用語に限定するべきである。その他を選択した場合はお考えをご記入ください。（合計回答数：116）

Ａ．本文用語に限定することに賛成・条件付き賛成意見の自由記述の概要

1）現行の叙述中心の教科書なら本文用語をさらに精選必要

2）精選は知識問う問題に限定すべき　／　3）重箱の隅をつつくような出題避けるべき（7）

4）歴史の流れ重視し、思考力問う出題を（3）

5）用語限定はセンター試験だけで実施を（2）

6）入試用語の限定できれば教科書用語の限定は不要　／　7）大学による差認めるべき（2）

8）問題文・リード文では用語限定しない方がよい　／　9）概念の正しい理解が必要

10）教科書により用語の扱いに差があることも考慮すべき　／　11）民間人の希望も入れるべき

12）歴史の大きな流れや因果関係を重視した出題を（4）　／　13）近現代史重視を

14）問題用紙に難解語の注釈を（2）　／　15）制限語内で合格点とれる出題を

16）大学側で出題用語の限定を　／　17）教科書の注・資料にある用語からの出題は避けるべき

18）出題語は多様で解答語に制限を　／　19）現代にとって意味ある用語から出題を

20）難関校が出題用語制限を受け入れるかが問題　／　21）史料問題では限定不要（2）

Ｂ．本文用語に限定することに反対・条件付き反対意見の自由記述の概要

1）入試の出題を本文用語に限定なら教科書用語の精選不要では

2）用語限定と限定無しの教科書ないし副読本の二種作成で足りる

3）時間不足や教師の力量の問題（2）　／　4）入試を論述試験にすれば、用語限定不要

5）教科書の多様性残すべき　／　6）本文と注・資料区別に反対（7）

7）用語制限すると歴史の流れの教育困難に　／　8）入試から歴史外せば面白い授業可能になる

9）注が些末とは限らず　／　10）理系は制限可だが、文系は慎重に

11）勉強しない生徒に迎合では　／　12）本文限定、思考力育成に反する

13）大学の判断に任せるべき　／　14）用語精選は検定強化の危険

15）用語制限はゆとり教育の再現（2）　／　16）若いころに多くを学ぶこと良い（2）

17）用語精選から始めるやり方に疑問　／　18）史料からも出題すべき（4）

19）教科書に比重置きすぎ　／　20）些末な用語の暗記力問う問題以外は制限なしで

21）本文用語への限定よりは用語の頻度基準の方がまし　／　22）出題用語精選不要

23）高校教育は大学進学のためだけではない　／　24）大学の自主性や多様性の尊重を（8）

25）授業改革が先　／　26）難易度の高い用語には注をつけて出題すれば可

27）大学入試を論述式に変えるべき　／　28）大学入試改革で対応すべき

29）本文だけでは公定史観になる恐れあり

C．関連した自由記述の概要

1）歴史教育にはロマン必要　／　2）検定制度が誤り

3）歴史解釈上疑問ある用語は除外すべき　／　4）日本国民が誇りを持てる用語で出題を

5）史実でない用語は除外を　／　6）国民から尊敬されている人の除外に反対

ⅱ）大学入試の出題用語は、入試の公平性を配慮して、高等学校で使用している歴史教科書の何割以上の教科書に収録されている用語に限定すべきと考えますか。2014 年時点で使用されていた B 教科書（世界史・日本史とも 11 種）でみた場合の用語数を参照に選択してください。その他を選択した場合はお考えをご記入ください。（合計回答数：140）

A．頻度基準の採用に賛成・条件付き賛成意見の自由記述の概要

1）現行の叙述中心の教科書なら９割以上、史料問題なら５割以上

2）頻度指定は高校生に勉強の範囲示す効果あり　／　3）用語集の頻度参照して出題を

4）10 割の頻度にすべき（5）　／　5）些末用語の出題には反対、徐々に削減を

6）文化史用語の削減は可　／　7）頻度より、教科書の採択率で考えるべき

8）学習指導要領で出題用語とそれ以外の区別を

9）限定には生徒の勉学意欲高める効果あり

10）入試改善が先　／　11）５割以上　／　12）些末な用語の出題はすべきでない

13）低頻度語は出さないという緩やかな基準で可

14）思考力育成型入試に転換を　／　15）用語の内容をまず問題にすべき

16）アクティブ・ラーニングで増える用語は許容すべき

17）細かい用語の暗記より、歴史の大きな流れの教育を（3）

18）大学入試の多様化　／　19）１社でも掲載していれば出題可

20）世界史は７割以上、日本史は５割以上、日本史８割の意見も

21）入試のタイプで区別、センター試験は８割、私大の個別試験は自由に（6）

22）３割以上で可　／　23）進路別に基準の変更を

24）出題文の用語制限は不要

B．頻度基準の採用に反対・条件付き反対意見の自由記述の概要

1）知識の欠落と歴史の歪曲につながる　／　2）横並びの規制は誤り

3）用語精選でなく、考える授業への転換で良（3）

4）歴史は暗記得意な生徒向きの教科

5）学習指導要領でやるべき　／　6）用語精選、教育の劣化

7）大学入試だけが人生に非ず　／　8）用語精選で一定の歴史観押し付けの危険

9）問題文に注つければよい（3）　／　10）大学入試は各大学の自由に（9）

11）ゆとり教育の再現になる心配　／　12）用語多い方が出題はしやすい

13）頻度基準に疑問（2）　／　14）精選者の公平性に疑問（3）

15）高校と大学無理に結びつけること反対（2）　／　16）２割以上で可

17）限定の必要なし（6）　／　18）用語集で十分

19）用語限定は多様な生徒の入学を制限（3）

20）現状でよい　／　21）用語集偏重避けるべき　／　22）教科書にとらわれる必要なし

23）入試の公平性と頻度基準の関係づけに疑問

24）解釈多様な歴史は受験から外すべき　／　25）用語に拘泥の発想おかしい

26）教科書用語に元来偏りあり　／　27）大学を高校の水準に合わせるやり方に疑問

28）国定教科書化は避けるべき　／　29）教科書外からの出題も可

30）大学入試と用語制限を結び付けることに疑問

C．関連した自由記述の概要

1）龍馬などの偉人の削除に反対（3）

2）自虐的でなく、日本に誇りをもてる用語の選択を（2）

3）事実でない用語は除外を　／　4）世界史と日本史の統合科目を教えるべき

5）適正で中立的な用語で教えるべき　／　6）教科書作成の公平性の確保を

ⅲ）高等学校の歴史教科書においては、時代の大きな流れを説明する概念用語と、特定の時期に起こった事件やそれに関連する人名・地名を表す事実用語を区別し、概念用語を中心としてその説明に必要な事実用語を必要な範囲で精選する。その他を選択した場合はお考えをご記入ください。（合計回答数：102）

A．概念用語と事実用語を区別することに賛成・条件付き賛成意見の自由記述の概要

1）概念用語の導入、歓迎（3）　／　2）両者を組み合わせて、考えさせる授業可（6）

3）時代の流れの中で両者の関係づけを　／　4）理系と文系で区別必要

5）歴史では事実用語を主、概念用語を従とすべき（7）

6）概念用語は価値観に関わるので、複数の解釈の提示を（2）

7）概念用語は歴史の大きな流れの表現として良（2）

8）概念用語の方向性は良いが、内容不明（2）　／　9）近隣諸国との関係重視を

10）あくまでも史実に基づくべき　／　11）概念用語は圧縮が必要

12）現行の教科書に概念・事実・基礎・発展用語の区別表示がよい

13）地理・公民と連携して概念用語の設定（2）　／　14）両者を均等に教えるべき

15）事実用語と概念用語を関連づけて教えられない教師存在

16）重要事象の決定が先　／　17）従来からそうしていたのではないか

18）歴史の解釈史の反省の上で概念用語構築を

19）教員研修が必要　／　20）大学進学しない生徒への配慮も

B．概念用語と事実用語を区別することに反対・条件付き反対意見の自由記述の概要

1）概念と事実用語の分離に疑問（3）　／　2）概念先行で分かりにくくなる

3）用語削減自体に反対　／　4）人物・郷土に関する用語の削減に反対

5）概念中心は歴史教育といえず（3）　／　6）ゆとり教育の二の舞の恐れ

7）不必要な事実用語などなし　／　8）概念中心だと中立性欠の危険（3）

9）概念中心ではかえって歴史嫌い生む、歴史はエピソード中心の方が生徒引き付ける

10）用語精選より多様な認識の育成を　／　11）歴史教育には具体的事実が重要

12）政治用語は排除を

C．関連した自由記述の概要

1）事実でない用語の選択すべきでない　／　2）用語選択はあくまで中立的に（2）

3）連合国の押し付け史観による用語精選に反対　／　4）用語精選者の思想性に疑問

ⅳ）用語の膨張傾向を生み出す要因の一つとして文化史における作家と作品の名前が羅列されている状況があるので、文化史に関してはそれぞれの時代を代表する作家や作品に限定した上で、その作家や作品の特徴をきちんと説明する形で収録する。その他を選択した場合はお考えをご記入ください。（合計回答数：104）

Ａ．文化史用語の限定に賛成・条件付き賛成意見の自由記述の概要

1）歴史事象との関連で文化扱うべき（7）

2）作家・作品の羅列でなく、生徒に知ってほしものを選別し、説明はよい（10）

3）国語など他教科と分業を（6）　／　4）討論型授業の実現のためよい

5）生徒が興味持てるものの工夫を　／　6）主観的基準での選別避けるべき（5）

7）宗教・思想部分の補強を　／　8）作品の引用がよい（2）

9）生徒の独習促すのがよい（2）　／　10）文化の政治・経済への影響にも注目を（5）

11）時代により取り上げる作家・作品の多寡でることへの配慮必要

12）羅列でなく、芸術史として教授を　／　13）系統的科学史の補充も

14）各時代の文化的特徴の中に位置づけを（3）　／　15）文化は暗記でなく、鑑賞を（3）

16）テーマ学習で充実を　／17）文化史用語大胆に削るべき

18）時代を代表する作品・作家選びは難しい、教科書執筆者の力量問われる（2）

19）思考力育成と結びつけて（2）　／　20）選定基準明確にすべき（3）

Ｂ．文化史用語の限定に関する反対・条件付き反対意見の自由記述の概要

1）用語羅列でも後の関心喚起の入り口になる（2）

2）文系学生には文化史きちんと教えるべき

3）選定基準が主観的になる危険あり、羅列で可（7）

4）作品・作家の限定には反対

5）国家による統制になるので反対　／　6）文化史軽視助長の危険あり

7）教科書のリストむしろ増やし、入試には出さないのがよい、

8）文学史は国語でやればよい（8）　／　／　9）課外の読書指導がよい

10）文化史用語は巻末などの参考や資料集掲載でよい（5）

11）作家名・作品名を問う入試問題を止めるべき（3）

12）各時代の政治・経済と結ぶ付けること難しい

13）文学・芸術以外も取り上げるべき

14）西洋文化中心の是正を　／　15）時代を代表する作家・作品の選定困難

ｖ）その他の基準があれば、記入してください。（合計回答数：146）

Ａ．用語精選に賛成・条件付き賛成意見の自由記述の概要

1）困難校では現状でも用語精選をせざるを得ない状況にあり、その経験を学ぶべき（2）

2）小中校教員との連携が必要（2）　／　3）生徒の教養力低下ゆえ、概念用語重要

4）用語の外国語表記の在り方、現地音主義の見直しを（2）

5）大学のレベル差に配慮を

6）基礎・発展・展開といった階層性の検討も　／　7）ジェンダー用語の充実を（3）

8）政治的に利用されない工夫が必要

9）時代の転機や地域の特性に関わる用語残すべき

10）近現代を増やし、前近代の精選を　／　11）資料・写真などでビジュアルにする工夫を

12）概念用語も精選し、平易な叙述にすべき

13）歴史の大きな流れを重視した精選を（10）

14）精選を入り口として何を教えるかを考えて

15）生徒のニーズから精選考える視点も

16）日本語のみで表現統一を　／　17）歴史の流れを太字で表現を

18）精選で歴史を学ぶ面白さを失わないように留意を　／　19）新聞用語の重視

20）一般教養的関心と学問研究の対比重要　／　21）人物本位の歴史重視を（3）

22）現在に影響のあるものを重視した精選を（12）

23）概念の注入にならぬ配慮を　／　24）用語の暗記でなく、何故を問う教育を（3）

25）地方史テーマの取り上げ　／　26）大学入試改革と用語精選を並行して進めるべき

27）大学入試は 2000 語内で出題を

28）生徒が生きる上で必要な概念の明確化が必要

29）王朝名などを全部覚えさせる教育やめるべき

30）挿絵・図表の用語は出題から除外を

31）周縁的例外的用語にも配慮を　／　32）現在と重なる現代史は削減を

33）細かい人名・事件名・年号は削減（5）　／　34）事実に基づくストーリー性を大切に

35）大東亜戦争など当時使用の表現使うべき

36）地域特定や時代区分の方法の見直しを

37）市民的資質の育成のため、思考力育成の重視を　／　38）単位数を考えた教科書執筆を

39）暗記中心の歴史教育から脱皮を　／　40）根拠曖昧なものは除外

41）田中正造や五日市憲法など民衆史の重要用語は残す（3）

42）センター試験での使用用語を基準にしたら　／　43）最新の研究成果の導入を

44）世界史と日本史の比較に適した用語採用（2）

45）普通名詞で代替できる用語は削除

46）ヨーロッパ中心史観の克服を（2）　／　47）500-1000 語くらいに削減を
48）センター試験と個別大学入試とでは出題用語に差を　／　49）政治史偏重の是正を
50）授業のまとまりを重視した精選を　／　51）明治以降の日本史の精選を
52）暗記批判の前に人間の記憶のメカニズムに関する認知科学の成果学ぶべき
53）主要大学の入試問題の検討を　／　54）大学入試と教科書改革の区別必要
55）大学はアドミッション・ポリシーで歴史系入試のやり方公表を
56）難解語には問題文で注を　／　57）勉強を受験に結び付けて考える発想の克服を
58）大学入試を思考力試す方式に変える（5）　／　59）教員養成の充実や授業時間の増加を
60）用語使わずに歴史的背景説明できる努力を　／　61）教科書も批判対象にすべき
62）高校現場の声の反映を　／　63）他教科との分業を（6）　／　64）環境史の充実を
65）ディベートに必要な用語は残すべき　／　66）多面的な見方可能になる歴史教育を（2）
67）外国人と対話可能な歴史教育を（3）　／　68）大学の個性いかす入試を
69）時代・分野の偏り是正を　／　70）必修と選択科目で精選基準に差

Ｂ．用語精選に反対・条件付き反対意見の自由記述概要

1）精選の必要なし（13）　／　2）学力低下の生徒に合わせる必要なし
3）歴史は暗記科目でよし、思想の押し付けよくない
4）生徒が興味持つ用語の削除止めるべき　／　5）受験のために歴史歪めるべきではない
6）教科書多様であってよい（2）　／　7）イデオロギーに偏らない歴史教育を
8）現状で問題なし　／　9）日本の伝統重視すべき
10）マニアックな事件から歴史に興味持つ場合もあり
11）用語より歴史の流れにこだわりを　／　12）幕末・明治期は大切、アジアとの比較を
13）TV・マンガなどの有名人を排除せず、有名になった原因考えさせるべき（2）
14）用語知らずに思考力育成されず　／　15）精選は少しづつ進めるべき
16）生徒が面白いと思う用語残すべき　／　17）用語精選で思考力育成できず
18）精選は教科書執筆者に任せるべき　／　19）ゆとり教育再現の恐れあり
20）世代を超えた歴史意識の共有大切　／　21）大学入試のための用語精選に疑問
22）用語精選結果の民主的検証プロセスの保証を　／　23）出題用語のチェック困難
24）史料問題は用語精選の範囲外の扱いで　／　25）日本人として知っておくべき用語の選択を
26）個の語りの重視を　／　27）精選より思考力の育成を（2）
28）教科書の収録用語豊富な方がよい
29）教科書執筆者の執筆レベルと高校生の理解度にギャップあり

C．関連した自由記述の概要

1）イデオロギーを排除した、公正中立な用語精選を（14）

2）事実に基づかない用語は除外すべき（38）

3）評価が対立する事項は両論併記すべき（5）

4）自虐でなく、日本人として誇りをもてる内容を（14）

5）加害の事実も教えるべき　／　6）検定意見ついた用語は削除すべき

7）外国のプロパガンダに同調すべきでない（12）

8）社会人や生徒の常識に反する用語精選には反対（6）

9）日本の公式見解に基づいた精選を（3）　／　10）地域観光に役立つ人物名は残すべき

11）選抜者の思想による偏った精選は止めるべき（3）

12）日本人として知っておくべき用語は残すべき（10）

13）精選には多様な立場の人間があたるべき　／　14）評価が対立する用語は除外すべき

Ⅸ．歴史系用語の精選を行う場合、高等学校歴史教科書の収録用語と大学入試の出題用語の精選のどちらを先行させるべきとお考えですか。その他を選択した場合はお考えをご記入ください。（合計回答数：114）

A．高校歴史教科書に関する意見

1）教科書改革が大切　／　2）教科書記述の改善を　／　3）教授法の改革を

4）歴史の単位数の増加が必要（2）　／　5）高校の現実知らぬ大学教員が多すぎる

6）大学入試のための歴史教育ではない

B．大学入試に関する意見

1）学習指導要領に対応した入試が必要　／　2）大学側がとりたい学生像を示すべき

3）高校生に対する大学入試の影響は多大

4）大学入試の出題は自由にやるべき（3）

5）大学入試に高校が対応できていない　／　6）大学から改革を（2）

7）大学入試の出題形式に問題あり（5）　／　8）大学入試改革だけでよい（3）

9）私大入試改革は困難、それを前提に教科書づくりを

10）大学入試に歴史不要、主観が入りすぎるから

C. 用語精選に反対の意見

1）高校教科書と大学入試を連動させるべきではない（5）

2）用語精選は不要（27）

3）若者には多くを学ばせた方がよい　／　4）何のための精選か不明

5）精選に方向づけたアンケートの取り方に疑問　／　6）用語の精選者に偏り

7）精選は当事者に任せるべき　／　8）精選で歴史教育が歪む心配あり

X．その他、ご自由にご意見をお寄せください。（合計回答数：331）

A．高校の歴史教育に関する意見

1）教科書のページ制限をなくし、多様性を　／　2）東南アジア史のページ増を

3）公民と重複する現代史の削減を　／　4）地歴公民すべて些末な用語が過多

5）過去の振り返りは未来の創造に重要（2）　／　6）客観的事実の教育が大切

7）大学入試の難易度に合わせ２種類の教科書作成（2）

8）歴史得意な生徒は暗記得意な子、思考力育成への傾斜は疑問

9）思考力育成型教育には用語精選不可欠（7）　／　10）歴史を学ぶ意義の徹底必要（5）

11）教員研修の充実が必要　／　12）用語精選に賛成（25）

13）研究者と教員の対等な対話が必要（2）　／　14）文脈の理解が大切（2）

15）高大研の用語精選第一次案よくできているが、現場では消化しきれぬ（7）

16）日本の成り立ちや近代化きちんと教えるべき　／　17）近現代史重視へ（4）

18）アクティブ・ラーニング対応の教科書と従来型の教科書の並存でよい、

19）歴史から生きる力を学ぶ機会活かすべき

20）現場では教科書改革に無理解な教員が多い（2）　／　21）沖縄史の充実を

22）教科教育学との協同を　／　23）今こそ、歴史を学ぶ意義を考えるチャンス（2）

24）用語精選モデルの普及が大切　／　25）用語精選案は定期的に見直しを

26）生徒が興味を持てる教科書作りを　／　27）西洋各国史を中心に用語の見直しを

28）大学に進学しない生徒のための歴史教育改革の検討も（4）

29）下からの議論の積み重ねが大事　／　30）アクティブ・ラーニング向けの教科書作成を

31）探究科目も思考力育成型に転換を

32）概念用語の検討重要だが、研究の裏付け不足

33）日本史、自分を知る科目として重視を　／　34）教科書改革は執筆者の努力次第

35）地域設定・時代区分の見直しを　／　36）史実を多面的に教えられる教科書を（2）
37）一般市民にもわかってもらえる努力を（4）　／　38）遡及的な歴史教育の開発を
39）世界に貢献できる日本人の育成に役立つ歴史教育を　／　40）世界史表記の統一を
41）歴史の大きな流れを重視する教育を（3）　／　42）教育の地域差の問題あり
43）左右に偏らず、高校生が興味を持てる教育を
44）用語精選と思考力育成は別問題（2）
45）高大研案は民間団体の試案という性格の強調必要
46）人物中心の歴史教育の改善の検討を　／　47）教師の力量や学校間格差の検討を（2）
48）重要用語のコンセンサス形成の努力必要　／　49）地域史の重視を
50）日本の誤りも教え、民主社会の担い手育成を　／　51）社会の共同性の重視を
52）歴史総合は世界の中の日本の視点貫いて　／　53）経済用語の充実を
54）高大研の日本史用語精選案まだ過多　／　55）多面的多角的思考の育成を
56）ビッグ・ヒストリーの視点導入を　／　57）用語精選と授業改革をセットで
58）ジェンダー史の充実を（2）　／　59）日本史 A を参考に必要用語の精選を
60）現状では現代まで教えられないので、精選必要　／　61）暗記科目からの脱却不可欠
62）一般に関心のある人物は載せるべき　／　63）知識と思考力は車の両輪
64）高校教育のレベル低下の問題あり　／　65）愛国心教育は必要（5）
66）史実に基づいた教育を（3）　／　67）問い重視の教育へ
68）概念より人物史を　／　69）単位削減に対応した用語精選を、暗記から楽しむ科目へ
70）高卒者や低学力大学生には中学教科書のおさらいを
71）日本史の用語数は増やすべき　／　72）教科書や教員に任せるべき
73）事実用語なしに歴史の楽しみ味わえず　／　74）文化史は独立して教育を
75）教育改革には認知科学的裏付け必要　／　76）高大研の改革努力に期待
77）用語精選はゆとり教育の再現の恐れ（5）
78）教員の負担は小学校の方が大　／　79）用語精選なしの思考力育成を（2）
80）用語増は当たり前　／　81）日本人の帰属意識喪失させる用語精選には反対（2）
82）高校生の歴史離れは TV の影響も　／　83）政治に翻弄されそうで精選には反対
84）歴史教育は大学受験のためにあるのではない　／　85）高大研の用語精選案に疑問
86）用語精選不要（23）　／　87）歴史の面白さ教えることと精選は別物
88）歴史は個性の学、概念化に反対（2）
89）日本の伝統尊重してこそ、国際化への対応可能（4）
90）ドラマの人気者を外すこと反対　／　91）用語の丸暗記などされていず

92）歴史の大きな流れ示す用語の削除に疑問　／　93）高大研案、常識に反す

94）歴史のロマン教える意義、忘れるな（2）　／　95）若いころにはたくさん教えるべき

96）龍馬の削除で精選の意味歪められる、慎重に　／　97）朝鮮史もっと増やすべき

98）高大研案、世界史の中の日本史用語過小　／　99）めざすべき高校生像曖昧

100）事実に基づく教育を（29）　／　101）イデオロギーに偏った教育反対（33）

102）暗記でも興味わくことあり　／　103）教育の基本を見失わないように

104）自虐でなく、日本に誇り持てる歴史教育を（33）

105）評価対立する用語は扱わないか、両論併記すべき（4）

106）精選者は中立的であるべき（2）　／　107）時代別のアンバラス、日本史案にあり

108）基礎知識欠ではアクティブ・ラーニング成り立たず　／　109）概念優先に反対

110）政府の意図反映には反対（2）　／　111）用語減少は思考力低下を生む

112）非欧地域の用語補充を　／　113）語数制限先行に疑問（2）

114）概念用語からでなく、事実用語から入るべき　／　115）教科書もっとやさしく

116）科学史用語不足　／　117）高校の多様性に配慮を

118）他教科との分業で改革検討を　／　119）偏狭なナショナリズムにならぬ配慮を

120）歴史好きの生徒用に用語制限しない副読本を

B．大学入試関連の意見

1）大学入試を変えることが大切（30）　／　2）大学入試、思考力問う出題へ

3）教科書用語を精選し、大学入試に影響はよいが、逆は反対

4）レベルの低い大学に合わせて改革案づくりはおかしい

5）大学入試は各大学の判断に任せるべき（7）

6）大学入試と高校教科書改革の結びつけ反対（5）

C. 関連した意見

1）アンケートの取り方に疑問（2）　／　2）アンケート結果の公表を

４．参考資料：アンケート調査のお願い

高等学校歴史教科書・大学入試出題用語精選基準に関する
アンケート調査のお願い

2017（平成 29）年 11 月

日本学術会議史学委員会高校歴史教育に関する分科会
日本歴史学協会歴史教育特別委員会
高大連携歴史教育研究会運営委員会

関係各位

高等学校の歴史教育では、古代から始めた授業が現代まで到達せずに終わったり、生徒が歴史を「暗記科目」と捉えて、歴史を学ぶ楽しさを実感したり、歴史的思考力を磨く機会を持つことが難しくなっているといわれています。その原因の一つは高等学校の歴史教科書に収録されている用語が改定の度に増大してきたことが影響していると指摘されています。また、大学入試で細かい用語の暗記力を問うような問題が出されると、その用語が次の改訂で教科書に収録される形で、大学入試も教科書用語の膨張に影響を及ぼしてきました。

もとより、この用語問題の解決には、用語精選に関する基準に関して高等学校の歴史教育や大学入試の歴史系出題に関わる広汎な皆さんのご意見を集約する必要があると考えています。そこで、私ども、日本学術会議史学委員会高校歴史教育に関する分科会、日本歴史学協会歴史教育特別委員会、高大連携歴史教育研究会（2015（平成 27）年発足、現在会員数 400 名）運営委員会では、高等学校の世界史Ｂ・日本史Ｂ教科書と大学入試出題における用語の精選基準に関するアンケート調査を実施することになりました。

このアンケートに対して 2018（平成 30）年２月末日までに回答をお寄せいただきたく、お願い申しあげます。なお、ご回答にあたっては、貴会としてのお答えか、個人のお答えかを明示くださるようにお願い申し上げます。

ア　ン　ケ　ー　ト

注）ご回答にあたっては、次の五段階、（５）強くそう思う、（４）そう思う、（３）どちらともいえない、（２）そう思わない、（１）全くそう思わない、のいずれかに該当する数字を○で囲んでください。また、その他の自由回答欄にはスペースの範囲内でご意見を自由にお書きください。

Ⅰ．ご回答のお立場　　a）会としての意見　　b）個人としての意見

II. 記入者のご氏名　　（　　）

III. 記入者の特性（複数選択可）　大学教員（元も含む）、高等学校教員（元も含む）、
教科書執筆者、教科書編集者、大学入試関係者、
その他（　　）

IV. 高等学校の歴史系教科書に収録されている用語が改定の度に増大している傾向についてどうお考えですか、

ｉ）歴史研究の進展の結果として当然　→　５　４　３　２　１

ii) 高等学校での授業時間の制約を考え、用語の精選が必要　→　５　４　３　２　１

iii) その他（　　）

V. IV-ii　で用語の精選が必要（５段階評価で５か４を選択）と回答された方にお尋ねします。高等学校の世界史 B と日本史 B（いづれも４単位）における適当な用語数は次のどれとお考えですか。

なお 1950 年代の世界史、日本史教科書の収録用語数は 1500 語前後であったが、2014 年度の教科書では世界史 B、日本史 B とも 3400-3800 語になっています。

・世界史 B　ｉ）3000 語程度、ii) 2500 語程度、iii) 2000 語程度、iv) 1500 語程度、ｖ）1000 語程度

・日本史 B　ｉ）3000 語程度、ii) 2500 語程度、iii) 2000 語程度、iv) 1500 語程度、ｖ）1000 語程度

・その他（　　）

VI. 大学入試で出題する用語数を限定する必要があるとお考えですか。

→　５　４　３　２　１

・その他（　　）

VII. VI で出題用語の精選が必要（５段階で５、４を選択）と回答された方にお尋ねします。大学入試で限定すべき用語数は次のどれとお考えですか。

・世界史 B　ｉ）3000 語程度、ii) 2500 語程度、iii) 2000 語程度、iv) 1500 語程度　ｖ）1000 語程度

・日本史 B　ｉ）3000 語程度、ii) 2500 語程度、iii) 2000 語程度、iv) 1500 語程度、ｖ）1000 語程度

・その他（　　）

VIII. 用語の精選を行う場合の次の基準についてどうお考えでしょうか。

ｉ）大学入試の出題用語は、高等学校の歴史系授業で十分説明する時間がないと思われる注や資史料にでてくる用語は除外し、教科書の本文に掲載されている用語に限定すべきである。→　５　４　３　２　１

その他（

ii) 大学入試の出題用語は、入試の公平性を配慮して、高等学校で使用している歴史教科書の何割以上の教科書に収録されている用語に限定すべきと考えますか。2014 年時点で使用されていた B 教科書（世界史・日本史とも 11 種）でみた場合の用語数を参照に選択

してください。
なお、現行の教科書では世界史 B が 7 種、日本史 B が 8 種となっていますが、用語集計データのある 2014 年度使用の教科書で表示しました。

i. 9 割以上（世 1922 語、日 2294 語） ii. 8 割以上（世 2577 語、日 3030 語）
iii. 7 割以上（世 3132 語、日 3709 語）、iv. 6 割以上（世 3661 語、日 4349 語）
v. 5 割以上（世 4101 語、日 4941 語）

その他（ ）

iii) 高等学校の歴史教科書においては、時代の大きな流れを説明する概念用語と、特定の時期に起こった事件やそれに関連する人名・地名を表す事実用語を区別し、概念用語を中心としてその説明に必要な事実用語を必要な範囲で精選する。
→ 5 4 3 2 1

その他（ ）

iv) 用語の膨張傾向を生み出す要因の一つとして文化史における作家と作品の名前が羅列されている状況があるので、文化史に関してはそれぞれの時代を代表する作家や作品に限定した上で、その作家や作品の特徴をきちんと説明する形で収録する。
→ 5 4 3 2 1

その他（ ）

v) その他の基準があれば、記入してください。

（ ）

IX. 歴史系用語の精選を行う場合、高等学校歴史教科書の収録用語と大学入試の出題用語の精選のどちらを先行させるべきとお考えですか。

i) 高等学校歴史教科書、 ii) 大学入試出題用語、iii) 両方同時

その他（ ）

X. その他、ご自由にご意見をお寄せください。
（ ）

ご返事は、下記にお送りくださるようにお願い申し上げます。

郵送の場合、〒612-8522 京都府京都市伏見区深草藤森 1 京都教育大学教育学部
日本史研究室気付 高大連携歴史教育研究会
また、高大連携歴史教育研究会のホームページ（http://www.kodairen.u-ryukyu.ac.jp）でもアンケートの回答を行うことができます。
なお、このアンケートに含まれる個人情報はアンケート集約以外には使用はいたしません。

５．アンケート結果に基づく
高大連携歴史教育研究会からの提案

１）高等学校歴史教科書に関係する用語精選の必要性

今回のアンケートでは、高校や大学の教員だけでなく、小中学生、高校生、大学生、大学院生、一般市民など多様な人々を含む、1300 人を超える多数の回答が寄せられたが、その多くが膨大になった用語の精選を支持する回答であった。

まず、IV の問いで、高校歴史教科書の用語が改訂の度に増加している傾向に関して、歴史研究の進展の結果として当然とする意見を肯定する回答（「強くそう思う」と「そう思う」の合計、以下同様）が 44.8%に達した一方、否定的意見（「そう思わない」と「全くそう思わない」の合計、以下同様）が 34.4%をしめした。また、授業時間の制約を考えて、用語の精選が必要かを尋ねた問いでは、肯定的回答が 64.6%、否定的な回答が 22.7%となり、３分２近くが用語精選の必要性を認めた。

また、精選が必要とした意見を示した人に適当な用語数を聞いたところ、世界史 B の場合、2000 語から 2500 語とする意見が 66.1%に達した。日本史 B の場合は、やはり 2000 語から 2500 語とする意見が 65%を示した。両科目とも、現行の教科書では、3400 語から 3800 語くらいの用語が収録されているので、現行から３－４割の削減が望ましいとする回答が多数を占めたといえるだろう。

２）大学入試における出題用語精選の必要性

VI の問いで、大学入試における出題用語精選の必要性を聞いたところ、肯定的意見は 49.8%、否定的意見は 35.2%で、肯定的意見が多かったが、教科書用語の場合に比べると、圧倒的多数ではなかった。肯定的意見の中で、適当な入試用語数を聞いたところ、3000 語が 9.6%、2500 語が 21.8%、2000 語が 39.5%、1500 語が 15.2%、1000 語が 19.6%となった。ここでも、2000 語から 2500 語を適当とする意見が 61.3%という多数を占める結果となった。

このように大学入試における出題用語の精選を求める意見が相対的には多数でも、教科書用語のような圧倒的多数ではなかった原因を、自由記述などを参考に考えると、難解な用語を問題文の中で注釈をつけて使用するやり方とか、センター試験と個別の大学入試との区別、大学の難易度による差、大学入試の多様化など様々な要因により、一律に用語精選する以外の対応策も種々考えられることの影響があるように思われる。

３）アンケート結果と経緯に基づく用語精選の基準について

次に用語精選をどのような基準で進めるべきか、を尋ねた VIII の問いを検討してみよう。

第一に、今回のアンケート調査で問われた用語精選基準の第一は、VIII-i)で問われた大学入試の出題用語を教科書の本文に掲載されている用語に限定すべきかどうかの問いであった。アンケートの結果は、肯定的な回答が 40.4%、否定的な回答が 38%で、ほぼ拮抗したので、精選基準として採用するには無理があるであろう。但し、高校・大学教員の属性別分析によると、高校教員では 51.1%対 26.1%、大学教員では 45.5%対 30.4%と、一般市民を除く教員の間では本文に限定する意見が多数をしめた点も指摘しておきたい。

第二の基準は、VIII-ii）で問われた大学入試の公平性を考えて、教科書の何割くらいに収録されている用語から出題すべきか、の問いであった。アンケートの結果は、９割以上が 26.2%、８割以上が 28.6%、７割以上が 18.3%、６割以上が 5.9%、５割以上が 19.6%であった。その結果、８割以上の合計で 54.8%になるので、８割以上の頻度で教科書に掲載されている用語の出題が妥当との判断が示されたといえるだろう。

第三の基準は、VIII-iii)で問われた、時代の大きな流れを説明する概念用語を中心としてその説明に必要な事実用語を必要な範囲で精選する基準についてであった。アンケートの結果は、肯定的な回答が 58.3%、否定的な回答が 20.7%で、この基準についても多数の賛同をえたといるだろう。

第四の基準は、文化史の用語を羅列ではなく、時代を代表する作家や作品に限定し、その特徴をきちんと説明するべきとする基準であった。回答の結果は、肯定的な回答が 68.1%、否定的な回答が 13.9%であり、この基準も多くの賛同をえたといえるだろう。

つまり、アンケート結果からは上記の、第二、第三、第四の３基準が用語精選の際の妥当な基準として確認されたといえるだろう。そこで、高大研としては、教科書出版や大学入試の出題を担当する関係者が、この３基準を参考にしてそれぞれの作業を自主的に進めてゆかれることを期待したい。

次に、高大研がアンケートの参考資料として提起した用語精選第一次案に対するマスコミの報道やそれに触発されたアンケートへの自由記述の動向についても検討する必要がある。これらの自由記述は、アンケートの項目になっていないため、多数意見になっているかの判定はできないが、多くの人々が関心を示した事項であることは間違いない。それ故、今後の用語精選のための検討事項として、問題点とともに、指摘して、関係者の皆さんの参考にしていただきたいと考える。

その第一の検討事項は、TV ドラマや歴史小説などでよく知られた人物の取り扱いの問題である。第一次案では大学入試で知識として出題対象とする「基礎用語」からは除外し、資史料やコラムなどの「発展用語」で取り上げることを提案したのであったが、マスコミでは教科書から特定の人物が消えるといったセンセーショナルな報道が行われたため、アンケートの自由記述では、国民的な関心を呼んでいる歴史上の人物を積極的に取り上げるべきとの意見が多数寄せられた。確かに、ドラマや歴史小説などを通じて国民的な教養と見なされているような人物については、史実との違いを考えさせる課題なども用いながら、歴史への関心を喚起する手がかりとすることが有益と思われる。それ故、「国民的な関心を呼んでいる人物や事件については、厳選した上で、史実との違いを示すなどして、生徒の歴史への関心を喚起する手がかりとする」ことも検討に値すると思われる。

ただし、「国民の関心を呼んでいる人物や事件」の判定をどう進めるか、史実との関係をどう確定するか、など今後さらに検討してゆく必要があるだろう。

第二の検討事項は、第一次案に収録された用語の中で評価の対立から削除を求める自由記述が寄せられた用語の扱いに関係する。歴史用語に関しては、政治的な対立を呼ぶ場合が多々あるが、その対立はあくまで学問的で、実証的な裏付けの下に議論されることが重要であり、歴史教育が政治的に歪められることがないような配慮が必要であろう。そうした考えからつぎのような原則が重要になると思われる。

つまり、「歴史教科書の用語やその説明は、政治的な配慮で歪められることなく、あくまで学問的な成果に基づくべきである。また、学問的な評価が分かれる場合には、特定の見解だけでなく、多様な見解を示して、生徒が事実に基づき、多面的・多角的に理解し、考察できるように配慮する必要がある。また、今後、歴史教育の分野でも、外国との交流がますます活発になることが予想されるので、一国の見解だけでなく、外国の見解も示して、生徒が多面的・多角的に理解し、考察できるように配慮することも大切である」といった原則も今後、検討に値すると思われる。

ただし、学問的な成果を教科書に反映させる場合、学問的成果をどのような場で、どのように反映させてゆくべきか、については、今後、さらに検討してゆく必要があるだろう。

以上、アンケート結果と経緯から、高等学校の新科目を含む歴史教科書や大学入試の出題

に関わる用語の精選に際しては以下の３基準を参考に、教科書製作者や大学入試出題者の皆さんがそれぞれの判断で自主的にすすめるように提案したい。

第一は、入試で知識として問う用語や教科書に「覚えるべき事項として書く用語の最大範囲は８割以上の教科書に掲載されている用語」の範囲にとどめる。

第二は、時代の流れや歴史の構図がわかるように、歴史の基礎用語、各時代の性格や現代的課題を示す用語などの概念やキーワードを中心として、関連する事実用語を精選する。

第三は、文化史用語について、作家や作品名の羅列ではなく、ある時代や地域を代表したり、現代的意義をもつものに限定して、詳しく紹介する。

加えて、以下の二つの事項は、検討事項として、教科書製作者や大学入試出題者の皆さんの間でも、今後、検討を進めるように期待したい。

第一は、国民的な関心を呼んでいる人物や事件について、厳選した上で、史実との違いを示すなどして、生徒の歴史への関心を喚起する手がかりとして収録する。

第二は、歴史教科書の用語やその説明は、政治的な配慮で歪められることなく、あくまで学問的な成果に基づくべきである。また、学問的評価が分かれる場合には、特定の見解だけでなく、多様な見解を示して、生徒が事実に基づき、多面的・多角的に理解し、考察できるように配慮する必要がある。また、今後、歴史教育の分野でも、外国との交流がますます活発になることが予想されるので、一国の見解だけでなく、外国の見解も示して、生徒が多面的・多角的に理解し、考察できるように配慮することが大切である。

なお、以上の用語精選に関する３基準を実際に適用する場合には幾つか注意すべき点がある。思考力・判断力・表現力などを重視する入試問題や教科書が実現する一方で、それらの注意点への配慮がなされない場合は、深刻な結果が懸念される。以下に３基準に対応した事柄と２つの検討事項、「その他」に分けて説明する。

４）用語精選の頻度基準を適用する場合の注意点

第一基準の大学入試の出題用語や教科書に「覚えるべき事項」として収録する用語を同種の教科書の８割以上に収録されている用語に限定する基準の場合、既刊の用語集を利用して頻度を確認するケースが多い。現在使用されている世界史Ｂの教科書数は７種、その８割ラインを越えるのは、頻度６以上の用語ということになる。用語集で頻度６以上の用語を計算すると、2622 語（頻度７＝1540 語、頻度６＝1082 語）となり、適当な用語数を若干上回ることになる。大幅な精選は必要ないとしても、従来の教科書における地域ごとのアンバランスを再生産しない配慮が必要である。日本史Ｂの教科書は、８種、その８割というのは頻度７以上となるが、用語集で頻度７以上の用語を数えると、3294 語（頻度８＝2247 語、頻度７＝1094 語）にもなり、更なる精選が必要になる。その際、小中学校の既習事項を全部必須用語とするかどうかも考慮すべきであろう。なお日本史と世界史のこの違いは、一部はそれぞれの用語集の作られ方の違いに由来するので、両者の調整が必要であるが、いずれにしても、大部分の教科書に載っている用語をさらに精選する方法を、Ｂ教科書だけの中で考えるのは難しい。より簡略なＡ教科書の用語選定と記述の方法も参考にすべきではないか。参考のため、現在使用されているＢ教科書の収録語数を揚げておく。ただし、教科書ごとに索引の取り方にバラつきがあるので、その点の注意が必要である。

表　世界史 B・日本史 B 教科書（現行版）の索引用語数

世界史 B	山川詳説世界史 B：3816、山川新世界史：2934、山川高校世界史：2310、東書世界史 B：3715、東書新選世界史 B：1585、帝国書院新詳世界史 B：3358、実教世界史 B：3855
日本史 B	山川詳説日本史 B：3382、山川新日本史 B：2876、山川高校日本史 B：2271、明成社最新日本史 B：3442、清水書院日本史 B：3286、実教日本史 B：4316、実教高校日本史 B：2137、東書新選日本史 B：1997

５）概念用語の選定および事実用語との関連づけ

概念用語は大きく３種類に分けられる。第一は「史料」「時代」「国家」「文化」など歴史を学ぶ上で必要な基礎用語である。中学校の既習事項の確認にもとづく厳選が必要だが、歴史の学び方・考え方を重視する新型入試や新指導要領では軽視できない。第二は「荘園制」「幕藩制」「鎖国」などある時代のキーワードとなる用語で、従来も比較的よく教えられている。だが、日本史用語集に「古代」「中世」「近世」「近代」「国民国家」「近代化」「大衆化」「グローバル化」などがない点を筆頭に、改善すべき点はまだある。第三は「気候変動」「持続可能な開発」「少子化／高齢社会」など、現代的課題を踏まえて歴史を学ぶのに必要な「現代用語の基礎知識」に類するものである。現代的課題に結びつけながら歴史を学ぶという改革の方針から見れば、これらも厳選しながら採用することが望まれる。以上を踏まえ、それぞれの入試や教科書の方針に合わせた概念用語の選定を進める一方で、事実用語についても主要な概念と関連づけながら、極力階層化されたかたちで選定するというやり方が求められる（階層化が進めば、将来は逆に、より詳しく学習する際に必要とされる「発展用語」の選定なども可能になるだろう）。

６）文化史用語の考え方

「読んだことのない文学作品」「作品を読んだことのない作家の名前」などを「学んでおくべき基礎知識ないし教養」と見なす考え方を、入試と教科書の両面で排除すべきである。特に問題なのは、政治史や経済史と比べても、「教養」の内容が古いままであるケースが多い点である。これまで断片的にしか扱われなかった現代の大衆文化や科学技術に関する用語は、改革の方向性から見て、むしろ体系化して学ばせる配慮が必要だろう。

７）－ｉ検討事項１（学習の動機付けと国民の教養）

文化史と同様に、ある世代がなじんだ人名などをすべて維持しようとすると、結局用語の増加に逆戻りする。ある地方で動機付けに必須だが他の地方では効果をもたない人名、人物にはロマンを感じないが環境史や科学技術史には目を輝かせる生徒などについて、結局は無用の暗記を強いることがないように配慮しつつ、真に効果的な人名・事項を選定する基準を検討すべきである。

７）－ii 検討事項―２（見方が対立する用語の扱い）

特定の見方の注入にならない配慮を徹底し、新学習指導要領が求める国民意識とグローバルで現代的な視野に向けた多面的・多角的考察を、用語面からも可能にするような選定基準の検討が望まれる。

８）用語の表記や呼称

用語の数量にかかわる上記の３基準とは別の角度で、教育や入試の現場での苦労を考えるとき無視できないのが、奇妙なカタカナ、難解な漢字や、不適切な呼称・訳語など、歴史用語の表記・呼称の問題である。とくに深刻なのは世界史だが、日本史も、世界史や地理と共通する用語における表記不統一などを含めて、問題なしとしない。共通の背景として、日

本語の発音や表現に関する省察の不足がある。表記や呼称については、学界での新しい呼称、海外での発音や呼称など、専門家のアドバイスを必要とするものが多いが、「特定の領域しか知らない専門家」が混乱を引き起こす例も後を絶たないので、教科書編集者や教員との緊密なすりあわせが強く求められる。

注)「アンケート結果に基づく高大連携歴史教育研究会からの提案」の作成経過

2018 年２月末にアンケートの回答が締め切られ、集計に入った。３月 15 日にアンケートを呼びかけた日本学術会議史学委員会高校歴史教育に関する分科会（現在は中高大歴史教育に関する分科会に改称)、日本歴史学協会歴史教育特別委員会、高大連携歴史教育研究会（以下、高大研と略称）の３者が会合をもち、アンケート結果の報告書は、集計を行った高大研の責任で行うことで合意した。

高大研の運営委員会では、アンケートの集計結果とともに、アンケート結果で明確になった用語精選基準に関する高大研としての提案を報告書に追加することとし、その大筋を、3 月 21 日に日本大学文理学部で行われたシンポジウム「歴史教育の未来を拓く III」での桃木至朗報告でおこなった。

その後、アンケート結果の階層別集計結果がでて、大学入試の出題用語を高校教科書の本文用語に限定する案が、高校と大学教員に限ると、過半数を超えていたことが判明した。そのため、高大研の提案の中に、用語精選基準として新たに追加することはしないが、その事実の指摘を追加することにした。また、自由記述で目立った事項については、アンケート項目になっていないので、過半数の意見として認定し、精選基準に入れることに疑問が表明されたので、別途、二つの検討事項として扱うことにするとともに、評価の対立する用語の取り扱いの説明に、学問的成果に基づくことや外国の評価も取り入れる点などを追加した。

以上の変更を高大研の運営委員会として４月 10 日に承認し、最終報告として確定した。